USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

W1300

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

W1300
デジタルプロジェクタ
ホームシネマシリーズ
説明書

目次

安全上のご注意. 3

プロジェクタの特長. . . 7

パッケージの内容. 8
プロジェクタの外観. 9
コントロールおよび機能. 11

プロジェクタの設置. . 16

場所の選択. 16
望ましい投射画像サイズを得る. 17
特定のスクリーンサイズに対しプロジェクタの場所を決定する方法. 17
特定の距離に対し推奨するスクリーンサイズを決定する方法. 17
投影レンズを移動させる. 21

接続. 22

HDMI 接続 22
コンポーネントビデオ接続. 23
ビデオ接続. 24
コンピュータ /PC 接続. 25
ビデオソースデバイスとの接続. 26
プロジェクタを通してサウンドを再生する. 27

操作. 28

プロジェクタの起動. 28
投射画像の調整. 29
メニューの使用方法. 31
プロジェクタの固定. 32
パスワード機能の使用. 32
入力信号の切り替え. 35
プリセットおよびユーザーモードの使用. 36
詳細な画質制御. 39
サウンドの調節. 42
縦横比の選択. 43
細部の拡大と検索. 45
3D 機能の再生. 45
プロジェクタのメニューディスプレイのカスタマイズ. . . 45
高地対応環境での操作. 46
コントロールキーをロックする. 46
画像を非表示にする. 47
画像の静止. 47
プロジェクタの停止. 47
メニュー操作. 48

メンテナンス 58

プロジェクタのお手入れ. 58
ランプについて. 59

トラブルシューティング 65

仕様 66

プロジェクタの仕様. 66
外形寸法. 67
タイミング図. 68

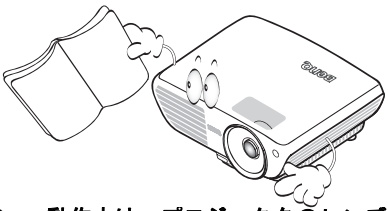
保証と著作権情報 73

安全上のご注意

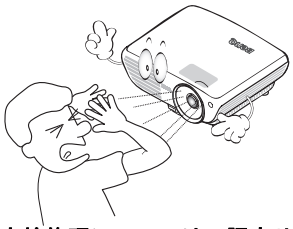
お使いのプロジェクタは、情報テクノロジ機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

安全上のご注意

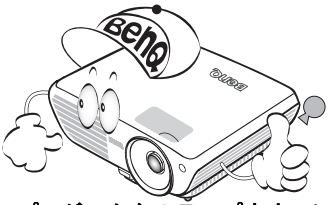
1. **プロジェクタを操作する前に、このユーザーズガイドをお読みください。**またいつでも参照できるように、手の届く場所に保管しておいてください。



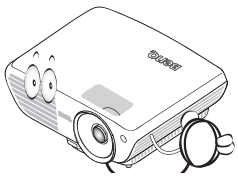
2. **動作中は、プロジェクタのレンズを覗き込まないでください。**光線が強力なため、視力障害を引き起こす恐れがあります。



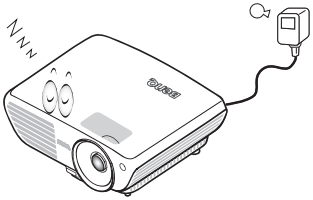
3. **点検修理については、認定サービス部門要員にお問い合わせください。**



4. **プロジェクタのランプをオンにするときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。**



5. 国によっては、線間電圧が一定していない場合もあります。本プロジェクタは、電源が AC100 ～ 240V の電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や ±10V のサージが発生すると故障する可能性があります。**本線の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、パワースタビライザー、サージプロテクタ、または無停電電源装置（UPS）にプロジェクタを接続することをお薦めします。**

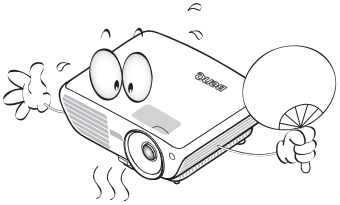


6. プロジェクタが作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。一時的にランプをオフにするには、プロジェクタかリモコンの **BLANK** ボタンを押してください。

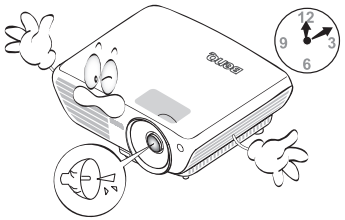


安全上のご注意（続き）

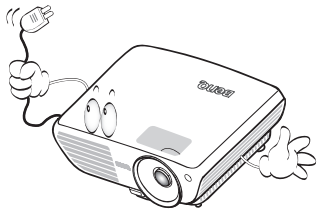
7. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクタの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクタを常温に戻してください。



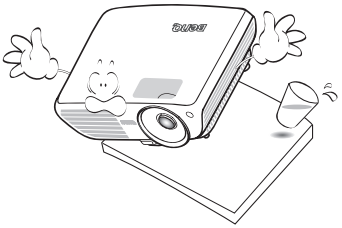
8. ランプは定格寿命を超えて使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命を超えて使用すると、ランプが破裂することがあります。



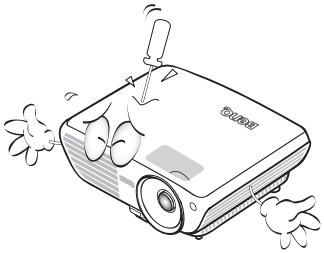
9. ランプ部や電子部品の交換は、必ずプロジェクタの電源プラグを抜いてから行ってください。



10. 本製品を不安定なカート、スタンド、またはテーブルに設置しないでください。本製品が落下して、重大な損傷を受ける恐れがあります。



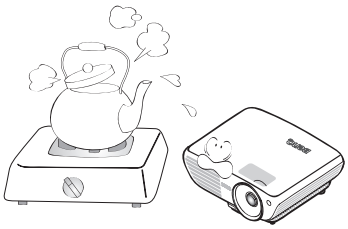
11. 本装置を分解しないでください。内部には危険な高圧部があり、触れると死亡事故につながる場合もあります。ユーザーが補修できる部分は専用の取り外し可能なカバーが付いているランプだけです。
    いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。点検修理については、認定のサービス部門要員にお尋ねください。



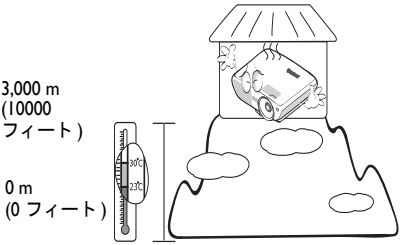
12. プロジェクタが稼動しているときには、換気グリルから熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥を示すものではありません。

安全上のご注意（続き）

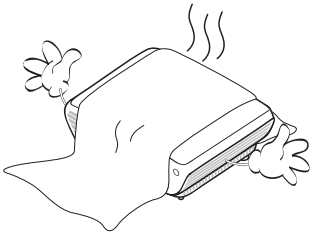
13. 次の場所に本装置を置かないでください。
    - 換気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50cm 以上空けて、プロジェクタ周りの風通しをよくしてください。
    - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
    - 非常に湿気の多い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙が充満している場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクタの寿命が短くなり、画像が暗くなります。



    - 火災報知器のすぐ傍。
    - 周辺温度が 40°C / 104°F を超える場所。
    - 3000 メートル (10000 フィート) 以上の高度。

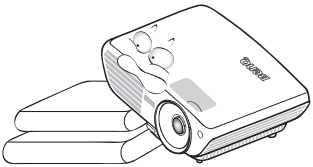


14. 通気孔をふさがないでください。
    - 本製品を毛布などの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
    - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
    - プロジェクタの傍に可燃物を置かないでください。

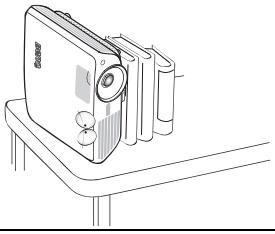


    通気孔を塞ぐと、プロジェクタの内部が過熱し、火災の原因となります。

15. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。
    - 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15° を超える状態で使用しないでください。完全に水平になっていない状態でプロジェクタを使用すると、ランプが故障したり破損したりすることがあります。

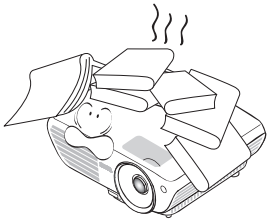


16. 装置を縦にして置かないでください。縦にして置くとプロジェクタが倒れ、負傷や、プロジェクタの破損の原因となります。

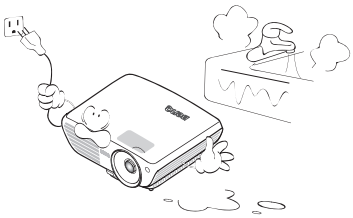


安全上のご注意（続き）

17. 装置の上に乗ったり、物を置かないでください。装置が物理的に損傷するだけでなく、事故や負傷の原因になります。

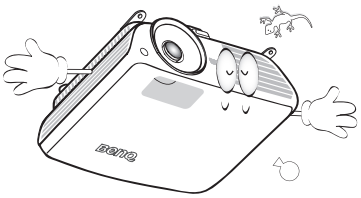


18. プロジェクタの上または傍に液体を置かないでください。プロジェクタ内部に液体がこぼれると故障の原因になります。プロジェクタを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクタのプラグを抜き、BenQ にプロジェクタの点検をご依頼ください。



19. 本製品を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。

⚠ **天井に取り付ける場合は、BenQ の天井取り付けキットのみを使用し、しっかりと固定してください。**



⚠ プロジェクタの天井取り付け

BenQ プロジェクタを楽しんでお使いいただき、人が負傷したり資産が損傷したりしないように、安全に関する事柄に注意していただきたいと思います。

プロジェクタを天井に取り付ける場合は、BenQ プロジェクタ専用の適切な天井取り付けキットをお使いになり、安全に設置されていることを確認してください。

BenQ ブランド以外のプロジェクタ天井取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが合わないためプロジェクタが正しく固定されず天井から落下する恐れがあります。

BenQ プロジェクタ専用天井取り付けキットは、BenQ プロジェクタの販売店でお買い求めいただけます。また BenQ では、別売のケンジントンロック互換のセキュリティケーブルをお求めになり、プロジェクタのケンジントンロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをしっかり取り付けることをお薦めします。こうすることで、天井取り付けブラケットが緩んだ場合にも、プロジェクタを支える二次的役割を果たすことができます。

⚠ Hg - ランプには水銀が含まれています。地域の廃棄法に従って管理してください。
www.lamprecycle.org を参照してください。

プロジェクタの特長

- **フル HD 互換**
  プロジェクタは 1080p 形式の真の 1:1 画像再現を提供する標準画質のテレビ (SDTV) 480i、576i、ワイドクリアビジョン対応テレビ (EDTV) 480p、576p、高解像度テレビ (HDTV) 720p、1080i/p 60Hz 形式と互換性があります。
- **高いピクチャ品質**
  プロジェクタはその高解像度により優れたピクチャ品質、優れたホームシアタ輝度、高いコントラスト比、鮮明な色、豊かなグレースケール再現を可能にしています。
- **高輝度**
  プロジェクタは超高輝度を採用して周辺光の状態で優れたピクチャ品質を実現し、通常のプロジェクタより優れた性能を発揮しています。
- **鮮明な色の再現**
  プロジェクタは 6 セグメントのカラーホイールを装備して、低いセグメントのカラーホイールでは達成不可能な臨場感にあふれる色の深度や範囲を生み出しています。
- **豊かなグレースケール**
  暗い環境で表示するとき、自動ガンマコントロールにより優れたグレースケール表示を採用して薄暗がりや夜間または暗いシーンで細部 を明らかにします。
- **多種多様な入力およびビデオフォーマット**
  プロジェクタは、コンポーネントビデオ、S ビデオ、コンポジットビデオだけでなく、デュアル HDMI、PC、自動スクリーンや環境証明システムへの接続用出力トリガーを含むビデオや PC 装置に接続するためにさまざまな入力をサポートしています。
- **ISF 認定校正制御**
  高い標準のパフォーマンスを得るために、プロジェクタは OSD メニューで ISF NIGHT と ISF DAY モードを組み込んでいますが、これには許可された ISF 技術者による校正サービスが必要となります。
- **3D 機能**
  HDMI を通して画像に深みを与えることで、3D ムービー、ビデオ、スポーツイベントをより臨場感豊かにお楽しみになれます。
- **内蔵スピーカー**
  オーディオ入力が接続されている場合、内蔵スピーカーは混合モノラルオーディオを提供します。
- **直感的なレンズシフト**
  レンズシフトレバーを通して直感的なコントロールによりプロジェクタを柔軟にセットアップできます。
- **SmartEco**
  SmartEco モードが選択されているとき、SmartEco™ テクノロジによりコンテンツの輝度によって最大 70% ランプの消費電力が節約されます。
- **SmartEco™ がダイナミックな省電力を起動**
  SmartEco™ テクノロジはプロジェクタのランプシステムを操作する新しい方法を取り入れて、コンテンツの輝度レベルによってランプ電力を節約します。
- **SmartEco™ テクノロジによりもっとも長いランプ寿命**
  SmartEco™ 技術により、消費電力が押さえられ、ランプ寿命が伸びています。
- **ECO BLANK がランプの電力を節約**
  ECO BLANK ボタンを押すと画像が非表示になり、同時にランプの電力が瞬時に低減されます。

パッケージの内容

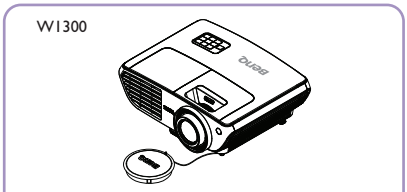
慎重に開梱し、以下の付属品がすべて揃っていることを確認してください。付属品が足りない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

標準アクセサリ

同梱のアクセサリは日本仕様のものであり、図と異なる場合があります。

*** 保証カードは一部の特定地域でのみ提供されるものです。詳細は、販売店にお問い合わせください。**

Europe sku では、VGA ケーブルを標準装備していません。



プロジェクタ

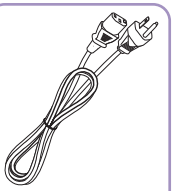

リモコン

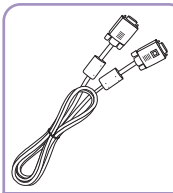

電池


保証書


説明書 CD


クイックスタートガイド


電源コード


VGAケーブル

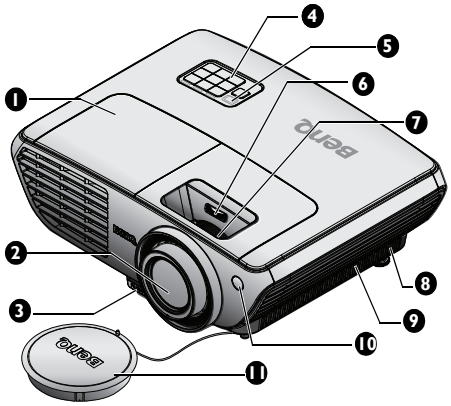

3Dメガネ

オプションのアクセサリ

1. 予備のランプキット
2. 天井取り付けキット
3. 3D メガネ
4. キャリーバッグ

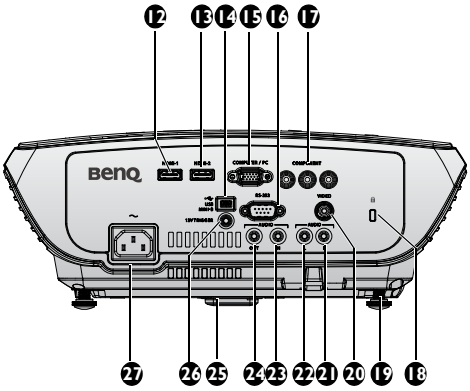
プロジェクタの外観

正面 / 上面



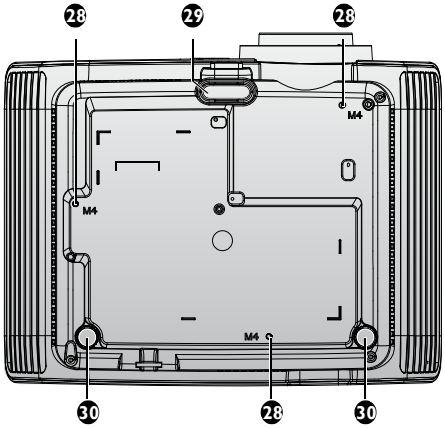
1. ランプコンパートメントカバー
2. 投写レンズ
3. クイック解除ボタン
4. 外部コントロールパネル（詳細は、11 ページの「プロジェクタ」を参照してください。）
5. 上赤外線リモートセンサー
6. レンズシフト
7. ピント リングおよびズーム リング
8. オーディオ スピーカー
9. 通気 （冷気吸入）
10. 前面赤外線リモートセンサー
11. レンズキャップとひも

背面 / 底面



12. HDMI 1 入力ジャック
13. HDMI 2 入力ジャック
14. USB ミニ B 入力ジャック
15. COMPUTER PC 入力ジャック
16. RS-232 コントロールポート
17. COMPONENT 入力ジャック
18. 盗難防止用ケンジントンロック スロット
19. 背面アジャスタフット
20. ビデオ入力ジャック
21. オーディオ入力ジャック (R)
22. オーディオ入力ジャック (L)
23. オーディオ入力ジャック
24. オーディオ出力ジャック
25. クイックリリース フット
26. 12 V トリガー出力ジャック
27. AC 電源コード差し込み口

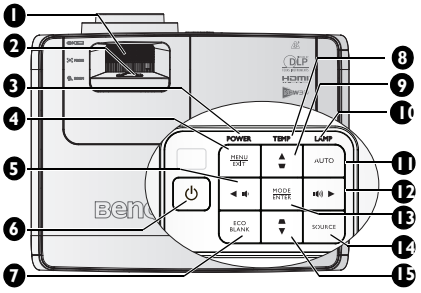
底部側



28. 天井取付穴
29. 前面アジャスタフット
30. 背面アジャスタフット

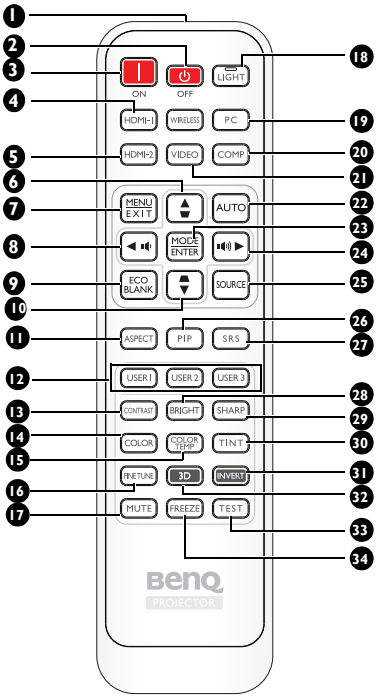
コントロールおよび機能

プロジェクタ



1. **FOCUS/ZOOM リング**
   画像外観の調整に使用されます。詳細は、30 ページの「画像サイズと明瞭さの微調整」を参照してください。
2. **レンズシフトアジャスタ**
   プロジェクタレンズを上げたり下げたりするのに使用されます。詳細は、21 ページの「投影レンズを移動させる」を参照してください。
3. **電源表示灯**
   プロジェクタの動作中に点灯または点滅します。詳細は、64 ページの「インジケータ」を参照してください。
4. **MENU/EXIT**
   オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。前の OSD メニューに戻り、メニュー設定を終了して保存します。詳細は、31 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
5. **◀ 左 / 音量レベルの減少**
   音量を減少します。詳細は、42 ページの「音声レベルを調節」を参照してください。
6. **⏻ 電源**
   プロジェクタのスタンバイモードと電源オンを切り替えます。
   詳細は、28 ページの「プロジェクタの起動」および 47 ページの「プロジェクタの停止」を参照してください。
7. **エコ消画**
   スクリーンのピクチャを非表示にするために使用します。
8. **TEMP (温度インジケータ ライト)**
   プロジェクタの温度が高くなりすぎると赤く点灯します。詳細は、64 ページの「インジケータ」を参照してください。
9. **台形補正 / 矢印キー (▼/▲上)**
   斜めになった投写により生じる画像の歪みを手動で修正します。
   詳細は、30 ページの「台形補正の修正」を参照してください。
10. **ランプ表示灯**
    ランプの状態を示します。ランプに問題が発生すると、点灯または点滅します。詳細は、64 ページの「インジケータ」を参照してください。
11. **AUTO**
    表示画像に最適なピクチャタイミングを自動的に決定します。詳細は、29 ページの「画像の自動調整」を参照してください。
12. **▶ 右 / 音量レベルの増加**
    音量を増加します。詳細は、42 ページの「音声レベルを調節」を参照してください。
    オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューが起動中は、#5、#9、#12、#15 キーは方向矢印として、ご希望のメニュー項目の選択や調整を行う際に使用できます。詳細は、31 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
13. **MODE/ENTER**
    使用可能なピクチャ設定モードを選択します。選択したオンスクリーンメニューをオンにします。詳細は、31 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
14. **SOURCE**
    ソース選択バーを表示します。詳細は、35 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。
15. **台形補正 / 矢印キー (▲/▼ 下)**
    斜めになった投写により生じる画像の歪みを手動で修正します。詳細は、30 ページの「台形補正の修正」を参照してください。

リモコン



1. **IR 送信機**
   プロジェクタに信号を送信します。
2. **電源オフ**
   プロジェクタの電源を切ります。詳細は、47 ページの「プロジェクタの停止」を参照してください。
3. **電源オン**
   プロジェクタの電源を入れます。詳細は、28 ページの「プロジェクタの起動」を参照してください。
4. **HDMI 1**
   HDMI 1 ソース選択を表示します。詳細は、35 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。
5. **HDMI 2**
   HDMI 2 ソース選択を表示します。詳細は、35 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。
6. **上カーソル / 台形補正 (▲/▀)**
   ▲: OSD で設定をナビゲートし、変更します。詳細は、31 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
   ▀: 投射角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。詳細は、30 ページの「台形補正の修正」を参照してください。
7. **MENU/ EXIT**
   MENU: オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。
   EXIT: 前の OSD メニューに戻り、メニュー設定を終了して保存します。詳細は、31 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
8. **左カーソル音量レベルの減少 (◀/🔉)**
   ◀: OSD で設定をナビゲートし、変更します。詳細は、31 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
   🔉: 音量を減少します。
9. **ECO BLANK**
   画面ピクチャを非表示にします。
10. **下カーソル / 台形補正 (▼/▟)**
    ▼: OSD で設定をナビゲートし、変更します。詳細は、31 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
    ▟: 投射角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。詳細は、30 ページの「台形補正の修正」を参照してください。
11. **ASPECT**
    表示縦横比を選択します。詳細は、43 ページの「縦横比の選択」を参照してください。
12. **USER 1/User 2/User 3**
    ユーザーのメモリ設定を選択します。

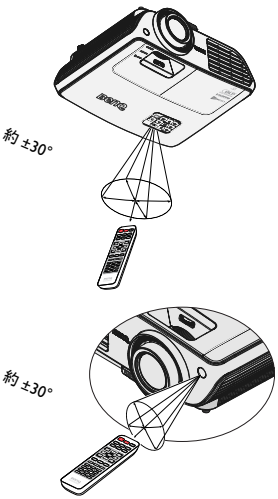
注 : このモードで、ユーザー 3 はサポートされていません。

13. **CONTRAST**
コントラスト設定バーを表示します。詳細は、38 ページの「コントラストの調整」を参照してください。
14. **COLOR**
COLOR 設定バーを表示します。詳細は、38 ページの「色の調整」を参照してください。
15. **COLOR TEMP**
色温度設定バーを表示します。詳細は、39 ページの「色温度の選択」を参照してください。
16. **FINE TUNE**
色温度の詳細調整設定バーを表示します。詳細は、40 ページの「お好みの色温度を設定する」を参照してください。
17. **MUTE**
内蔵スピーカーがミュートされます。
18. **LIGHT**
リモコンのバックライトを約 10 秒間オンまたはオフにします。バックライトがオンになっている間他のキーを押すと、バックライトがさらに 10 秒間オンになります。
19. **PC**
PC のソース選択を表示します。詳細は、35 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。
20. **COMP**
コンポーネントのソース選択を表示します。詳細は、35 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。
21. **VIDEO**
VIDEO のソース選択を表示します。詳細は、35 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。
22. **AUTO**
表示画像に最適なピクチャタイミングを自動的に決定します。
23. **MODE/ ENTER**
モード : 使用環境に適したプリセットモードを選択します。
ENTER:OSD メニューのキーを入力します。
24. **右カーソル音量レベルの増加 (▶ / 🔊)**
▶: OSD で設定をナビゲートし、変更します。詳細は、31 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
🔊: 音量を増加します。
25. **SOURCE**
ソース選択バーを表示します。
26. **PIP**
PIP 機能を有効にします。▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを使用して、PIP ウィンドウの位置を調整します
27. **SRS**
SRS（（サウンド検索システム）サラウンドサウンド効果のオン / オフを切り替えます。
28. **BRIGHT**
輝度設定バーを表示します。詳細は、38 ページの「輝度の調整」を参照してください。
29. **SHARP**
シャープネス設定バーを表示します。詳細は、38 ページの「シャープネスの調整」を参照してください。
30. **TINT**
色合い設定バーを表示します。詳細は、38 ページの「色合いの調整」を参照してください。
31. **INVERT**
3D 同期逆転を無効または逆転に設定します。
32. **3D**
3D 設定バーを表示します。
33. **TEST**
テストパターンを表示します。
34. **FREEZE**
画面上の画像を固定 / 固定解除します。詳細は、47 ページの「画像の静止」を参照してください。

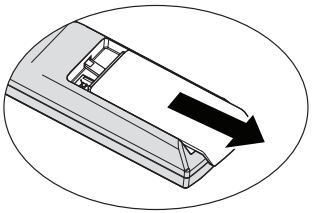
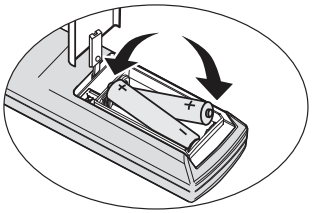
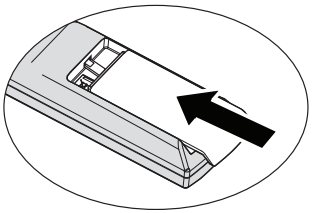
リモコンの有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサは、プロジェクタの正面と上部にあります。リモコンを正しく機能させるには、プロジェクタの IR リモコンセンサの垂直方向から 60 度以上寝かさないようにリモコンを支える必要があります。リモコンとセンサの間の距離が 8 メートル (26 フィート) を超えないようにしてください。

リモコンとプロジェクタの IR センサーの間に、赤外線を遮断する障害物がないかを確認します。



リモコンの電池交換

1. カバーを矢印の方向にスライドさせることで、バッテリ収納部のカバーを取り外します。	
2. ここに示すように、極性 (+/-) に注意して付属のバッテリを挿入します。	
3. カバーを再び取り付けます。	

- **高い温度および湿度を避けてください。**
- **電池を間違って取り付けると、破損する場合があります。**
- **電池は同じものか、メーカーが推奨する同等タイプのものと交換してください。**
- **使用済みの電池は電池メーカーの指示に従って処理してください。**
- **電池は絶対に火に投げ込まないでください。爆発の危険があります。**
- **電池が消耗したり、長時間リモコンを使用しない場合は、液漏れがないようにリモコンから電池を外してください。**

プロジェクタの設置

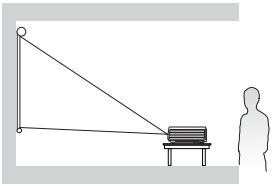
場所の選択

本機は次の 4 通りの設置場所から選ぶことができます。

部屋のレイアウトやお好みで、取り付け場所をお選びください。スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクタとその他の装置の距離や位置などを考慮してください。

1. 正面

プロジェクタをスクリーン正面のテーブルの上に設置できる場所。これがプロジェクタを素早く設定したり持ち運ぶ上で、もっとも一般的な設定です。

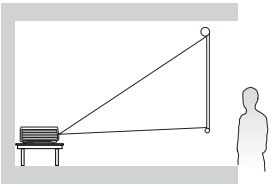


2. 背面

プロジェクタをスクリーン背部のテーブルの上に設置できる場所。

特殊なリア投射スクリーンが必要です。

* プロジェクタの電源がオンになったら、**背面**を設定します。

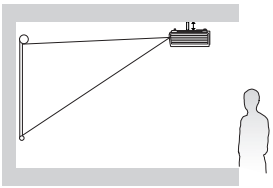


3. 天井前面投射

プロジェクタがスクリーン正面の天井から上下逆さにつり下げられる場所。

天井にプロジェクタを取り付けるには、販売店から BenQ プロジェクタ天井取り付けキットをご購入ください。

* プロジェクタの電源がオンになったら、**天井前面投射**を設定します。

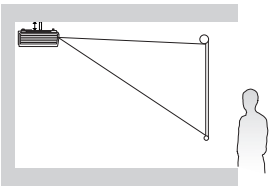


4. 天井背面投射

プロジェクタをスクリーン背面の天井から上下逆さに吊り下げられる場所。

この取り付け場所には、特殊なリア投射スクリーンと BenQ プロジェクタ天井取り付けキットが必要です。

* プロジェクタの電源がオンになったら、**天井背面投射**を設定します。



*** プロジェクタの位置を設定するには :**

1. プロジェクタまたはリモコンの **MENU/EXIT** を押し、システムの**システム設定 : 基本**メニューがハイライトされるまで◀ /▶ を押し続けます。
2. ▲/▼ を押してプロジェクタ**プロジェクタの配置**をハイライトし、正しい位置が選択されるまで◀ /▶ を押し続けます。

望ましい投射画像サイズを得る

プロジェクタレンズからスクリーンまでの距離、ズーム設定 (可能な場合)、ビデオフォーマットなど投射画像サイズにはそれぞれの要素があります。

プロジェクタは必ず机の上などに水平に配置し、スクリーンの水平方向の中央に対して直角になるように設置してください。こうすることで、斜めに投射（または斜めになった面に投射）することに起因する画像の歪みを防止できます。

プロジェクタを天井に取り付ける場合は、プロジェクタがやや下向きの角度で投射するように上下逆さに取り付ける必要があります。

プロジェクタをスクリーンから遠ざけると、投射画像のサイズが増し、それに比例して垂直の偏りも大きくなります。

スクリーンとプロジェクタの距離を決定する際は、投写距離に直接比例する投写イメージのサイズと縦オフセットのサイズも考慮する必要があります。

特定のスクリーンサイズに対しプロジェクタの場所を決定する方法

1. 表を参考にして、左側の 19 ページの「スクリーンの寸法」という欄から使用したいスクリーンサイズに最も近いものを探してください。この値を使用して、列を右に見ていくと、19 ページの「平均」とラベルされた列のスクリーン値から対応する平均距離が見つかります。これが投射距離になります。
2. スクリーンの位置と調整可能なレンズシフト範囲に従って、プロジェクタの正確な位置を決定します。

特定の距離に対し推奨するスクリーンサイズを決定する方法

この方法では、本プロジェクタを購入した目的で使用しながら、設置する部屋に合ったスクリーンサイズを求めることができます。

最大スクリーンサイズは、使用する部屋の実際のスペースが上限となります。

1. プロジェクタとスクリーンを設置したい場所の間の距離を測ります。これが投射距離になります。
2. 表を参考にして、19 ページの「平均」という欄からスクリーンからの平均距離に最も近い値を探してください。測定した距離が、平均距離値の横に記載されている最小および最大距離の間に入っていることを確認してください。
3. この値と同じ列を左へ見ていくと、相当するスクリーンサイズを見つけることができます。これが、その投射距離でのプロジェクタの投射画像サイズになります。

例、

16:9 アスペクト比のスクリーンをお使いのとき、測定した投影距離が 5.0 m(5,000 mm) だった場合、19 ページの「平均」コラムで一番近いのは 5,008 mm です。この列を見ると、130 インチのスクリーンが必要なことがわかります。

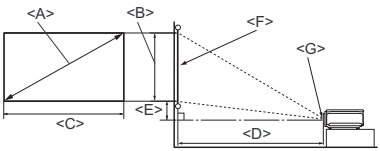
19 ページの「投射距離 <D>[mm]」のコラムの最小投射距離を確認すると、5,000 mm の測定された投射距離も 110 および 160 インチサイズスクリーンに合うことを示しています。プロジェクタは、投射距離でこれらのさまざまなスクリーンサイズで表示されるように (ズームコントロールを使用して) 調整できます。これらのさまざまなスクリーンには、さまざまな垂直オフセット値があることにご注意ください。

プロジェクタを別の場所に設置すると (推奨される範囲内で)、画像がスクリーンの中心にくるようにプロジェクタを上下に傾ける必要があります。その場合、画像に歪みが生じることがあります。台形補正機能を使用して歪みを補正してください。詳細は、30 ページの「台形補正の修正」を参照してください。

投射寸法

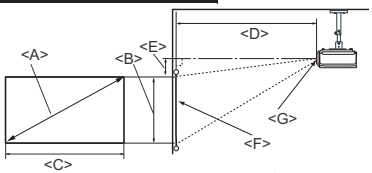
適切な位置を計算する前に、67 ページの「外形寸法」を参照してこのプロジェクタのレンズ寸法の中心を求めてください。

床設置



<F>: スクリーン　<G>: レンズの中心

天井取付



<F>: スクリーン　<G>: レンズの中心

スクリーンの寸法				投射距離 <D>[mm]			最低 / 最高のレンズ位置 <E> [mm]	
対角 <A> [インチ (mm)]		高さ <B> [mm]	幅 <C> [mm]	最短距離 (最大ズームにて)	平均	最短距離 (最小ズームにて)	(最小)	(最大)
26	(659)	323	574	-	-	1200	32	78
30	(762)	374	664	923	1156	1388	37	90
40	(1016)	498	886	1231	1541	1851	50	120
50	(1270)	623	1107	1539	1926	2313	62	149
60	(1524)	747	1328	1846	2311	2776	75	179
70	(1778)	872	1550	2154	2696	3239	87	209
80	(2032)	996	1771	2462	3082	3701	100	239
90	(2286)	1121	1992	2769	3467	4164	112	269
100	(2540)	1245	2214	3077	3852	4627	125	299
110	(2794)	1370	2435	3385	4237	5090	137	329
120	(3048)	1494	2657	3693	4622	5552	149	359
130	(3302)	1619	2878	4000	5008	6015	162	389
140	(3556)	1743	3099	4308	5393	6478	174	418
150	(3810)	1868	3321	4616	5778	6940	187	448
160	(4064)	1992	3542	4923	6163	7403	199	478
170	(4318)	2117	3763	5231	6548	7866	212	508
180	(4572)	2241	3985	5539	6934	8328	224	538
190	(4826)	2366	4206	5847	7319	8791	237	568
200	(5080)	2491	4428	6154	7704	9254	249	598

スクリーンの寸法				投射距離 <D>[mm]			最低 / 最高のレンズ位置 <E> [mm]	
対角 <A> [インチ (mm)]		高さ <B> [mm]	幅 <C> [mm]	最短距離（最大ズームにて）	平均	最短距離（最小ズームにて）	(最小)	(最大)
250	(6350)	3113	5535	7693	9630	11567	311	747
300	(7620)	3736	6641	9232	11556	13881	374	897
325	(8254)	4047	7194	10000	-	-	405	971

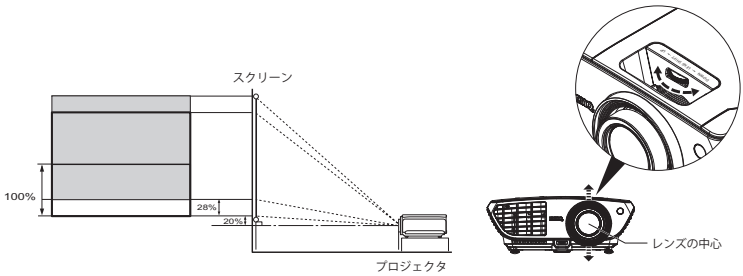
☞ 光学部品の偏差により、これらの数字には 5% の許容誤差があります。プロジェクタを固定して取り付けるつもりの場合、固定する前に、本プロジェクタの光学的特性を考慮に入れることができるように、実際のプロジェクタを使って投射サイズと距離を物理的にテストしておくことを、BenQ ではお薦めします。こうすることで、ご希望の取り付け位置にもっともよく合う場所を見つけることができます。

投影レンズを移動させる

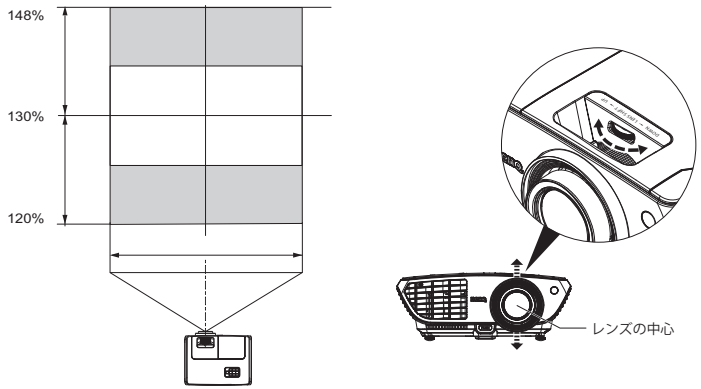
レンズシフトコントロールは、プロジェクタを設置する際に柔軟性を提供します。これにより、プロジェクタをスクリーンの中心からずれた位置に置くことができます。

レンズシフトは、投影された画像の半分の高さの割合として表されます。投写画像の垂直方向の中心からずれとして測定されます。希望の画像位置によっては、許容される範囲内に投射レンズをシフトすることができます。

- **スクリーン位置が固定される場合**



- **プロジェクタの位置が固定される場合**



☞ **レンズシフト調整が、画質を劣化させることはありません。画像の歪みが生じる場合、詳細は、30 ページの「台形補正の修正」を参照してください。**

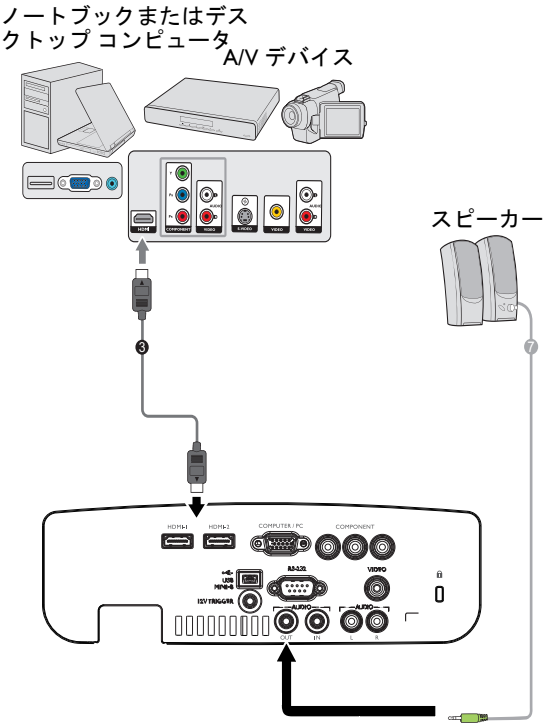
接続

信号ソースをプロジェクタに接続する場合、次の点を確認してください。

1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。

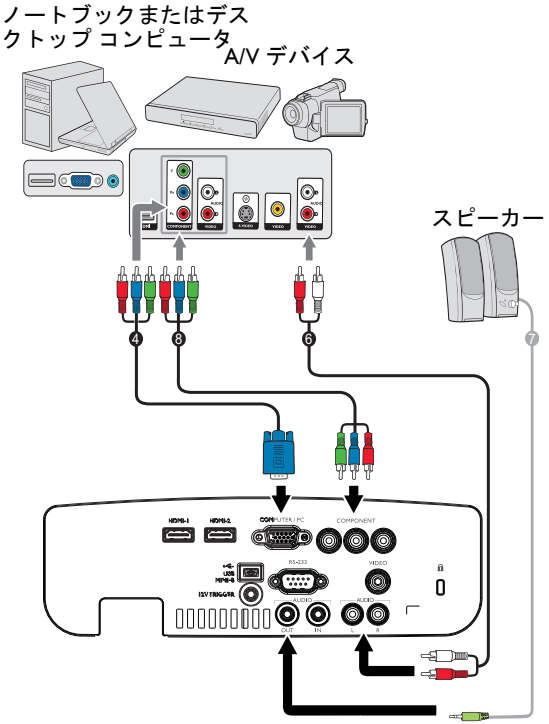
- **下に示す接続では、プロジェクタに付属していないケーブルが一部あります (詳細は、8 ページの「パッケージの内容」を参照)。それらのケーブルは電気店でお求めいただけます。**
- **以下の接続図は参考情報です。プロジェクタで使用できる背面接続ジャックは、各プロジェクタモデルによって異なります。**

HDMI 接続



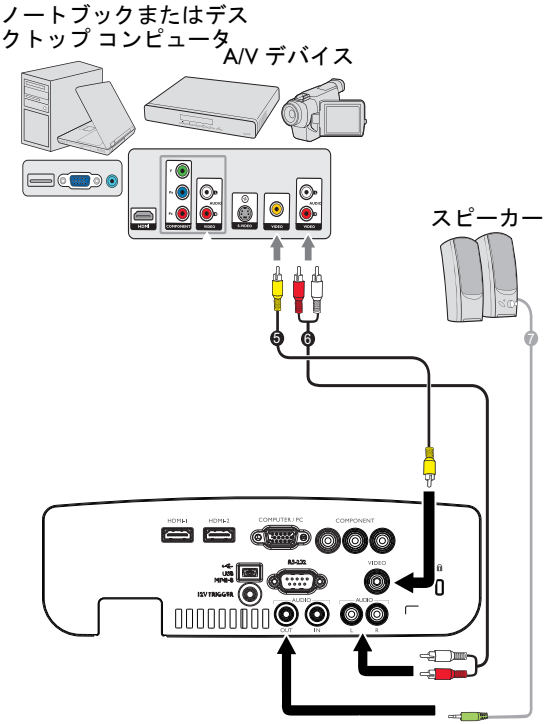
3. HDMI ケーブル
7. オーディオケーブル

コンポーネントビデオ接続



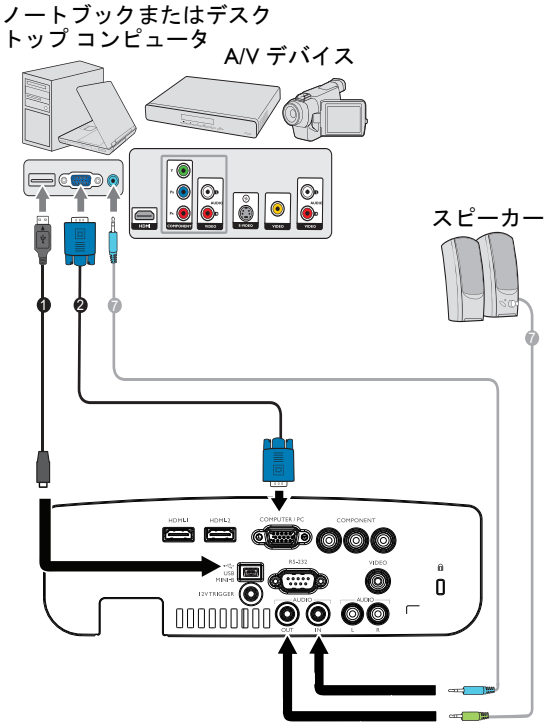
4. コンポーネントビデオ -to-VGA(D-Sub) アダプタケーブル
6. オーディオ L/R ケーブル
7. オーディオケーブル
8. コンポーネントビデオ対コンポーネントケーブル

ビデオ接続



5. ビデオケーブル
6. オーディオ L/R ケーブル
7. オーディオケーブル

コンピュータ /PC 接続



1. USB ケーブル
2. VGA ケーブル
7. オーディオケーブル

- **多くのノート PC では、プロジェクタに接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常は「FN」+「F3」や CRT/LCD キーの組み合わせによって、外部ディスプレイをオン / オフにすることができます。CRT/LCD とラベルされた機能キー、またはノート PC にモニタ記号が付いた機能キーを探します。「FN」とラベルの付いた機能キーを同時に押します。ノート PC のキーの組み合わせについては、ノート PC の説明書をお読みください。**

ビデオソースデバイスとの接続

接続方法のいずれかでプロジェクタとビデオソース デバイスを接続する必要があります。ただし、方法によってビデオ品質のレベルが異なります。選択する方法は、以下で説明するように、プロジェクタとビデオソース デバイスの一致する端末の可用性によって異なることがあります。

端末名	端末形状	ピクチャ品質
HDMI		最高
コンポーネントビデオ		良
PC		良
ビデオ		標準

オーディオ接続

プロジェクターに一機内蔵されているモノラルスピーカーは、データのプレゼンテーションに必要な基本的なオーディオ機能を果たすビジネス使用向けに設計されています。ホームシアターやホームシネマ·アプリケーションのようなステレオオーディオ再生のための使用向けには設計あるいは意図されていません。ステレオオーディオ入力 (用意された場合) は、プロジェクタースピーカーを通し通常のモノラルオーディオ出力と混合されます。

AUDIO OUT ジャックが接続されている際は、内蔵スピーカーはミュートされます。

- **ステレオオーディオ入力が接続されている場合でも、プロジェクターは混合モノラルオーディオでのみ再生が可能です。詳細は、26 ページの「オーディオ接続」を参照してください。**
- **プロジェクタの電源をオンにした後正しいビデオソースが選択されているにもかかわらず、選択したビデオ画像が表示されない場合、ビデオソース デバイスの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。**

プロジェクタを通してサウンドを再生する

プレゼンテーションでプロジェクタ (混合モノラル) スピーカーを使用したり、独立したアンプ付きスピーカーをプロジェクタの AUDIO OUT ソケットに接続することもできます。

独立したサウンドシステムをご使用の場合は、ビデオソース機器のオーディオ出力をモノラルオーディオプロジェクターの代わりにそのサウンドシステムに接続することをお勧めいたします。

接続されたオーディオは、プロジェクタのオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューでコントロールすることができます。

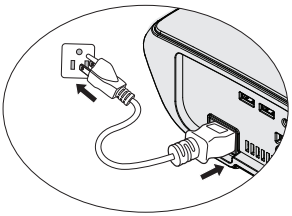
以下の表は、さまざまなデバイスの接続方法と、サウンドの出力元を説明しています。

デバイス	コンピュータ /PC	コンポーネント / ビデオ	HDMI 1/2
オーディオ入力ポート	AUDIO IN (ミニジャック)	オーディオ (L/R)	HDMI
プロジェクタは、以下のサウンドを再生できます	AUDIO IN (ミニジャック)	オーディオ (L/R)	HDMI
オーディオ出力ポート	AUDIO OUT	AUDIO OUT	AUDIO OUT
選択した入力信号はプロジェクタスピーカーで再生されるサウンド、また AUDIO OUT が接続されているときプロジェクタから出力されるサウンドを決定します。COMPUTER/PC 信号を選択すると、プロジェクタは AUDIO IN ミニジャックから受信したサウンドを再生できます。COMPONENT/VIDEO 信号を選択すると、プロジェクタは AUDIO (L/R) から受信したサウンドを再生できます。			

操作

プロジェクタの起動

1. 電源コードをプロジェクタとコンセントに差し込みます。コンセントのスイッチをオンにします（該当する場合）。電源を入れた後、プロジェクタの **電源表示灯** がオレンジ色に点灯することを確認します。



⚠ **感電や火災の原因となるため、デバイスには付属のアクセサリ (電源ケーブル、など) のみを使用してください。**

2. プロジェクタ または リモコン の **電源** を押してプロジェクタを起動し、トーンを鳴らします。**電源表示灯** が緑色に点滅し、電源がオンになると、緑色のまま点灯します。
起動手順には約 30 秒かかります。起動処理の後半で、スタートアップロゴが投射されます。
（必要に応じて）フォーカスリングを回して画像の鮮明さを調整してください。
音をオフにします。詳細は、43 ページの「電源オン / オフ音をオフにする」を参照してください。

☞ **プロジェクタの前回の動作時の熱がまだ残っている場合、約 90 秒間冷却ファンが作動してからランプを作動します。**



3. OSD メニューを使用するには、まずその言語を選択してください。詳細は、45 ページの「プロジェクタのメニューディスプレイのカスタマイズ」を参照してください。
4. パスワードの入力を求められた場合、矢印キーを押して 5 桁のパスワードを入力します。詳細は、32 ページの「パスワード機能の使用」を参照してください。
5. 接続されているすべての機器の電源をオンにします。
6. プロジェクタは入力信号の検索を開始します。スキャンされている入力信号がスクリーン左上隅に表示されます。プロジェクタが有効な信号を検出しない場合、入力信号が見つかるまで **「信号なし」** のメッセージが表示されます。
プロジェクタまたはリモコンの **ソース** を押して希望の入力信号を選択することもできます。詳細は、35 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。

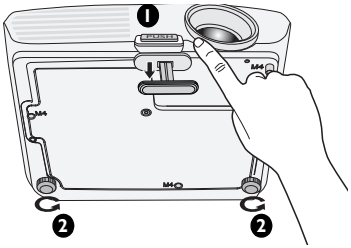
☞ **入力信号の周波数 / 解像度がプロジェクタの動作範囲を超えた場合、「対応範囲外」というメッセージが消画スクリーンに表示されます。プロジェクタの解像度に合った入力信号に変えるか、入力信号を低い値に設定し直してください。詳細は、68 ページの「タイミング図」を参照してください。**

投射画像の調整

投写角度の調整

プロジェクタには、クイックリリースアジャスタフットおよび背面アジャスタフットが各 1 つ備え付けられています。これらのアジャスタを使って、画像の高さと投射角度を調整します。プロジェクタを調整するには、次の手順にしたがってください。

1. クイックリリースボタンを押して、プロジェクタの手前を持ち上げてください。画像が希望する位置に表示されたら、クリックリリースボタンを放してフットを所定の位置にロックします。
2. 背面アジャスタ フットを回して、水平角度を微調整します。



フットを引き込むには、クイックリリース ボタンを押しながらプロジェクタを持ち上げて、ゆっくりとプロジェクタを下ろします。背面アジャスタフットを逆方向にねじ込みます。

プロジェクタが平らな面に設置されていない場合、またはスクリーンとプロジェクタが互いに直角に設置されていない場合は、投射画像が台形になります。このような状況を補正するには、30 ページの「台形補正の修正」で詳細を参照してください。

⚠
- **ランプが点灯している間は絶対にレンズを覗きこまないでください。ランプからは強い光が出ているため、目を損傷する原因となります。**
- **アジャスタボタンは熱風が出る排気孔の傍にありますので、押すときには注意してください。**

画像の自動調整

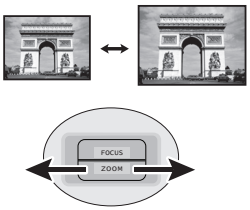
場合によっては、ピクチャ品質を最適化する必要が生じることもあります。これを実行するには、プロジェクタかリモコンの **AUTO** を押します。3 秒以内に組み込みインテリジェント自動調整機能により周波数およびクロックの値が再調整され、最適なピクチャ品質が得られます。

下図のように、現在のソース情報がスクリーンの左上隅に 3 秒間表示されます。

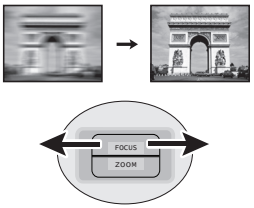
☞
- **AUTO が機能している間、スクリーンは消画の状態になります。**
- **この機能は PC 信号 (アナログ RGB) が選択されている場合にしか使用できません。**

画像サイズと明瞭さの微調整

1. ズームリングを使用して、必要なサイズに投射画像を調整します。



2. 次に、フォーカスリングを回して画像をシャープにします。



台形補正の修正

台形補正とは、投射画像の上辺または下辺のいずれかが明らかに長くなる状態のことです。プロジェクタがスクリーンに対して垂直でないときに、台形になります。

この問題を補正するには、プロジェクタの高さを調整する以外に、次のいずれかのステップによって**台形補正**を使用して手動で補正する必要があります。

1. **MENU/EXIT** を押し、**ディスプレイ** メニューが選択されるまで ◀ /▶ を押します。
2. ▼を押して**台形補正**を選択し **MODE/ENTER** を押します。**台形補正**補正ページが表示されます。



▼/▼を押します。　　**▲/▲を押します。**

3. 画像上部の台形補正を修正するには ▲ を押し、画像下部の台形補正を修正するには ▼ を押します。



メニューの使用方法

このプロジェクタは、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを備えており、各種の調整や設定が行えます。

以下に OSD メニューの概要を紹介します。



OSD メニューを使用するには、まずその言語を選択してください。

1. プロジェクタまたはリモコンの **MODE/ENTER** を押し、OSD メニューをオンにします。



2. ◀/▶ を使用して**システム設定：基本**メニューを選択します。



3. ▼ を押して **言語**を選択し、その後で ◀/▶ を押して言語を選択します。



4. プロジェクタかリモコンの **MODE/ENTER** を 2 回押して *、設定を保存し、終了します。

***1 回目でメインメニューに戻り、2 回目で OSD メニューが閉じます。**

プロジェクタの固定

セキュリティケーブルロックの使用

プロジェクタは盗難されないよう安全な場所に設置する必要があります。または、ケンジントンロックなどのロックを購入し、プロジェクタを固定してください。ケンジントンロックのスロットはプロジェクタ左側にあります。詳細は、9 ページの「盗難防止用ケンジントンロックスロット」を参照してください。

ケンジントンセキュリティケーブルロックは通常、キーとロックの組み合わせです。使用方法については、ロックのマニュアルを参照してください。

パスワード機能の使用

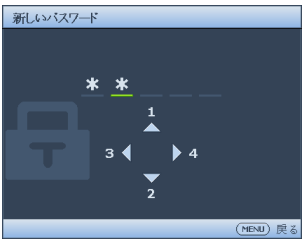
セキュリティの目的で、また権限のない使用を防ぐために、このプロジェクタにはパスワードセキュリティ設定用のオプションが含まれています。パスワードはオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューで設定します。オンスクリーンメニューの操作方法については、31 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。

⚠ **電源オンロック機能を有効にしたにも関わらず、パスワードを忘れてしまうと面倒なことになります。本書を印刷し、本書で使用するパスワードを書き留め、安全な場所に保管して（必要に応じて）参照してください。**

パスワードの設定

☞ **一度パスワードを設定すると、プロジェクタを起動するたびに正しいパスワードを入力しなければプロジェクタを使用することはできなくなります。**

1. OSD メニューを開き、**システム設定 : 詳細** > **パスワード**メニューを選択します。**MODE/ENTER** を押します。**パスワード**ページが表示されます。
2. **電源ロック**をハイライト表示し、◀/▶ を押して、**オン**を選択します。
3. 右図のように、4 つの矢印キー (▲、▼、◀、▶) はそれぞれ 4 つの数字 (1, 2, 3, 4) を表しています。これらの矢印キーを使って、5 桁のパスワードを設定してください。
4. 新しいパスワードを再度入力して、新しいパスワードを確認します。
   パスワードが設定されると、OSD メニューは**パスワード**ページに戻ります。
5. **電源ロック**機能を有効にするには、▲/▼ を押して **電源ロック** を選択し、◀/▶ を押して**オン**を選択します。



☞ **入力した数字は画面上にはアスタリスク (*) で表示されます。選択したパスワードは、忘れた場合に参照できるように、前もって、または入力後直ちに本書に書き留めてください。**

パスワード : _ _ _ _ _

本書は安全な場所に保管してください。

6. OSD メニューを終了するには、**MENU/EXIT** を押します。

パスワードを忘れた場合



パスワード機能を有効にすると、プロジェクタをオンにするたびに 5 桁のパスワードを入力するよう要求されます。間違ったパスワードを入力すると、右図のようなパスワード エラーメッセージが 3 秒間表示され、次に**「パスワードの入力」**というメッセージが表示されます。別の 5 桁のパスワード上を押してもう一度やり直してください。または本書にパスワードを記録しておかなかったため、どうしても思い出せない場合、パスワードの呼び戻し手順を使用してください。詳細は、33 ページの「パスワードの呼び戻し手順に入る」を参照してください。

パスワード 5 回続けて間違えて入力すると、プロジェクタは間もなく自動的に停止します。

パスワードの呼び戻し手順に入る



1. プロジェクタかリモコンの **AUTO** を 3 秒間押し続けます。プロジェクタはスクリーンにコード化された数字を表示します。
2. 番号を書き留め、プロジェクタをオフにします。
3. 番号をデコードするには、最寄りの BenQ サービスセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクタの認定ユーザーであることを確認するために、購入証明書の提示を求められます。

パスワードの変更

1. OSD メニューを開き、**システム設定 : 詳細** > **パスワード** > **パスワードの変更** メニューを選択します。
2. **MODE/ENTER** を押します。すると**「現在のパスワード」**というメッセージが表示されます。
3. 古いパスワードを入力します。
   - パスワードが正しければ、別のパスワード**「新しいパスワード」**が表示されます。
   - パスワードが間違っていれば、パスワード エラーメッセージが 3 秒間表示され、**「現在のパスワード」**というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、**MENU/EXIT** を押します。
4. 新しいパスワードを入力します。

入力した数字は画面上にはアスタリスク (*) で表示されます。選択したパスワードは、忘れた場合に参照できるように、前もって、または入力後直ちに本書に書き留めてください。

パスワード : _ _ _ _ _

本書は安全な場所に保管してください。

5. 新しいパスワードを再度入力して、新しいパスワードを確認します。
6. プロジェクタに新しいパスワードが割り当てられました。次回プロジェクタを起動したときには、必ず新しいパスワードを入力してください。

7. OSD メニューを終了するには、**MENU/EXIT** を押します。

パスワード機能を無効にする

パスワード保護を無効にするには、OSD メニューシステムを開いた後で**システム設定 : 詳細** > **パスワード** > **電源ロック**メニューに戻ります。◀/▶ を押して、**オフ**を選択します。**「パスワードの入力」**というメッセージが表示されます。現在のパスワードを入力します。

i. パスワードが正しい場合、**電源ロック**欄が、**オフ**と表示された状態の**パスワード**ページに戻ります。次回プロジェクタをオンにするとき、パスワードを入力する必要はありません。

ii. パスワードが間違っていれば、パスワード エラーメッセージが 3 秒間表示され、**「パスワードの入力」**というメッセージが表示され再試行が求められます。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、**MENU/EXIT** を押します。

☞ **パスワード機能が無効でも、古いパスワードを入力してパスワード機能を再び有効にする必要があるため、古いパスワードはお手元に保管しておいてください。**

入力信号の切り替え

プロジェクタは同時に複数のデバイスに接続できます。ただし、一度に表示できるフルスクリーンは 1 つです。

利用可能な入力信号は手動で切り替えることも可能です。



1. プロジェクタの **SOURCE** を押すか、リモコンから入力ソースを直接押します。ソース選択バーが表示されます。
2. 希望の信号が選択されるまで ▲/▼ を押し、次に **MODE/ENTER** を押します。
   信号が検出されたら、選択したソース情報が画面に数秒間表示されます。
   プロジェクタに複数の装置が接続されている場合は、ステップ 1-2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。

☞ • **さまざまな入力信号を変えると、それに従って投射画像の輝度レベルも変わります。ほとんどが静止画を使ったデータ (グラフィック) PC プレゼンテーションは、ほとんどが動画 (ムービー) を使う「ビデオ」より一般に明るくなります。**

• **このプロジェクタの最高ディスプレイ解像度は、縦横比 16 : 9 です。最高のピクチャ画質を得るには、この解像度で出力できる入力信号を選択、使用する必要があります。これ以外の解像度を使用すると、「縦横比」の設定によってプロジェクタの縮尺が変わるため、画像が歪んだり、ピクチャの鮮明さが失われたりします。詳細は、43 ページの「縦横比の選択」を参照してください。**

ソースの名前を変更することもできます。

1. **MENU/EXIT** を押し、**システム設定 : 基本**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押します。
2. ▼ を押して**ソース名変更**をハイライトし **MODE/ENTER** を押します。**ソース名変更**ページが表示されます。
3. 希望の信号が選択されるまで▲/▼/◀/▶ を押し、次にを押します **MODE/ENTER**.

• 信号を自動的に検索したい場合、**システム設定 : 基本** > **自動ソース探知**メニューで**オン**を選択します。

プリセットおよびユーザーモードの使用

プリセットモードの選択

このプロジェクタは、操作環境や入力ソースのピクチャタイプに合わせて選択できるように、いくつかの事前定義されたピクチャ モードで設定されています。

自分に適したプリセットモードを選択するには、以下が必要です :

1. **MENU/EXIT** を押し、**ピクチャ**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押します。
2. ▼ を押して、**プリセット モード**をハイライトします。
3. 希望の信号が選択されるまで◀/▶ を押します。

これらのモードは、以下に説明するようにさまざまな投射状況に適したプリセット値で構成されます。

- **シネマ :** バランスのよい彩度と低い輝度レベルにより、(映画館のように) 真っ暗な環境でムービーを楽しむのにもっとも適しています。
- **ダイナミック :** 投射画像の輝度を最大限にします。このモードは、プロジェクタを明るく証明された部屋で使用する場合など、きわめて高い輝度を必要とする環境に適しています。
- **標準 : シネマ**モードよりいくらか明るく、周辺光がわずかにある部屋での使用に適しています。
- **3D:** 3D コンテンツを見ているとき、3D 効果を出すように最適化されます。

☞ **このモードは、3D 機能が有効になっているときのみ使用できます。**

- **ユーザー設定 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3:** カスタマイズされた設定を呼び戻します。詳細は、37 ページの「ユーザー設定 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 モードを設定す」を参照してください。

☞ **ユーザー 3 は、3D モードが有効になっているときのみ使用できます。**

選択したピクチャモードを詳細調整する

事前定義されたピクチャモード設定は、ピクチャメニューで示した使用可能な項目を介して交換できます。

ピクチャモードを詳細調整するには :

1. **MENU/EXIT** を押し、**ピクチャ**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押します。
2. ▼ を押して、調整する項目をハイライトし、◀/▶ を押して、希望する値を設定します。選択はプロジェクタに自動的に保存され、その入力ソースに関連づけられます。
   詳細は、36 ページの「選択したピクチャモードを詳細調整する」および 39 ページの「詳細な画質制御」を参照してください。

ピクチャモードを変更するたびに、プロジェクタも設定をその特定の入力のその特定のピクチャモードに対する最後の設定に変更します。入力ソースを変更すると、直前に使用されたピクチャモードとその入力および解像度の設定が復元されます。

ユーザー設定 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 モードを設定す

現在使用可能なピクチャ モードが目的に適さない場合、3 種類のユーザー定義可能モードを使用できます。ピクチャモードの 1 つ (選択したユーザーモード以外) を開始点として使用し、設定をカスタマイズすることができます。

1. **ピクチャ**メニューで、**プリセット モード**をハイライトし、◀ /▶ を押して**ユーザー設定 1**、**ユーザー 2**、**ユーザー 3** モードを選択します。
2. ▼ を押して、**ユーザー モード管理**をハイライトします。

☞ **この機能は、プリセット モードのサブメニューアイテムでユーザー設定 1、ユーザー 2、ユーザー 3 モードが選択されている場合のみ使用できます。**

3. **MODE/ENTER** を押して、**ユーザー モード管理**ページを表示します。
4. ▼ を押して、**リファレンス モード**をハイライトし **MODE/ENTER** を押します。
5. ▼ を押して、ニーズにもっとも近いピクチャモードをハイライトし、**MODE/ENTER** と **MENU/EXIT** を押して**ユーザー モード管理**ページに戻ります。
6. ここで、**ユーザー モード名変更**をハイライトし **MODE/ENTER** を押すことで、**ユーザー設定 1**、**ユーザー 2**、**ユーザー 3** モードの名前を変更できます。**ユーザー モード名変更**ページが表示されます。
7. 希望の信号が選択されるまで▲ /▼ /◀ /▶ を押し、次にを押します **MODE/ENTER**.
8. 完了したら、**MENU/EXIT** を押してメインメニューに戻ります。
9. ▼ を押して変更するサブメニューアイテムを選択し、◀ /▶ を使って値を調整します。詳細は、36 ページの「選択したピクチャモードを詳細調整する」および 39 ページの「詳細な画質制御」を参照してください。
10. すべての設定が完了したら、**MENU/EXIT** を押して、設定を保存してください。

ピクチャモードの再設定

ピクチャメニューで完了したすべての調整を、ハイライト表示される**リセット** キーを押すことで、工場出荷時プリセット値に戻すことができます。

画像モードを工場出荷時プリセット値にリセットするには :

1. **ピクチャ**メニューで、**プリセット モード**をハイライトし、リセットするピクチャモード (◀ /▶ を押して**ユーザー設定 1**、**ユーザー 2**、**ユーザー 3** を含む) を選択します。
2. ▼ を押して**ピクチャ設定をリセット**をハイライトし **MODE/ENTER** を押します。確認メッセージが表示されます。
3. ◀ /▶ を押して、**リセット** をハイライトし、**MODE/ENTER** を押します。画像モードが、工場出荷時プリセット設定に戻ります。
4. 他の画像モードをリセットする場合は、ステップ 1 ～ 3 を繰り返します。

☞ **ここでの「ピクチャ設定をリセット」機能をシステム設定 : 詳細メニューの「全設定をリセット」と混同しないでください。全設定をリセット機能は、ほとんどの設定は工場出荷時プリセット値にシステム全体で戻します。詳細は、56 ページの「全設定をリセット」を参照してください。**

ユーザーモードの画質の微調整

ユーザー設定 1 か **ユーザー設定 2** モードを選択しているとき、選択した信号タイプによっていつくかのユーザー定義可能な機能を利用することができます。必要に応じてこれらの機能を調整してください。

輝度の調整

ピクチャメニューで **輝度**をハイライトし、プロジェクタかリモコンで ◄/► を押して値を調整します。

値を高くするほど画像の輝度が増します。設定値が小さいほどイメージは暗くなります。画像の黒い領域が黒く表示され、暗い領域の細部が見えるように、このコントロールを調整します。



コントラストの調整

ピクチャメニューで **コントラスト**をハイライトし、プロジェクタかリモコンで ◄/► を押して値を調整します。

値を高くするほど、コントラストが増加します。選択した入力と表示環境に合わせて**輝度**設定を調整した後、これを使って白のピークレベルを設定することができます。



色の調整

ピクチャメニューで **色**をハイライトし、プロジェクタかリモコンで ◄/► を押して値を調整します。

設定を下げると、飽和色が少なくなります。設定が高すぎると、画像の色が非常に強くなり、画像は現実離れして見えます。

色合いの調整

ピクチャメニューで **色合い**をハイライトし、プロジェクタかリモコンで ◄/► を押して値を調整します。

値を高くするほど、赤みがかったピクチャになります。値を低くするほど、緑がかったピクチャになります。

シャープネスの調整

ピクチャメニューで **シャープネス**をハイライトし、プロジェクタかリモコンで ◄/► を押して値を調整します。

値を高くするほど、ピクチャがシャープになります。値を低くするほど、ピクチャがソフトになります。

色温度の選択

ピクチャメニューで **色温度**をハイライトし、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押して値を調整します。

色温度 * 設定で利用可能なオプションは、選択した信号タイプによって異なります。

1. **標準 :** 白の色合いをノーマルに保ちます。
2. **低い :** 画像を青みがかった白で表示します。
3. **ランプ ネイティブ :** ランプのオリジナルの色温度およびより高輝度を使用します。このモードは、プロジェクタを明るく照明された部屋で使用する場合など、きわめて高い輝度を必要とする環境に適しています。
4. **高い :** 画像を赤みがかった白で表示します。

*** 色温度について**：

さまざまな用途に対して「白」とみなされる色合いが、多数存在します。白色を表すための一般的な方法の 1 つは、「色温度」として知られています。色温度の低い白色は赤みがかった白で表示されます。色温度の高い白色はより強い青で表示されます。

詳細な画質制御

ピクチャ > **詳細設定 ...** および**ディスプレイ**メニューにお好みに調整できるより高度な機能があります。設定を保存するには、**MENU/EXIT** を押して、OSD メニューを終了します。

ブラック レベルの設定

ピクチャ > **詳細設定 ...** メニューで**ブラック レベル**をハイライトし、プロジェクタまたはリモコンの ◀/▶ を押して **0 IRE** または **7.5 IRE** を選択します。

グレースケールのビデオ信号は、IRE 単位で測定されます。NTSC テレビ規格が使用される一部のエリアでは、グレースケールは、7.5 IRE（黒）から 100 IRE（色）で測定されます。しかし、PAL 機器または日本 NTSC 規格が使用される他のエリアでは、グレースケールは、0 IRE（黒）から 100 IRE（白）で測定されます。入力ソースが、0 IRE または 7.5 IRE であるかどうかを確認し、それに応じて選択することを推奨します。

画像の明瞭さの制御

静的またはノイズの多い投影画像が投影される可能性があります。

より良い画像の明瞭さを実現するには：

1. **ピクチャ** > **詳細設定 ...** メニューで**透明度調整**をハイライトし、プロジェクタまたはリモコンの **MODE/ENTER** を押して**透明度調整**ページを表示します。
2. ▼ を押して***ノイズ リダクション***を選択し、◀/▶ を押して希望する値を設定します。
   - ***ノイズ リダクション :*** 異なるメディアプレーヤーによって引き起こされる電気的な画像ノイズを低減します。より高い設定は、ノイズが少なくなります。

お好みの色温度を設定する

お好みの色温度を設定します。

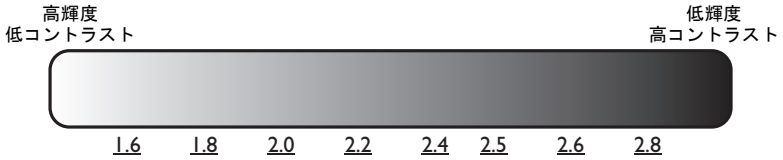
1. **ピクチャ** > **詳細設定 ...** メニューで**色温度の詳細調整**をハイライトし、**MODE/ENTER** を押します。**色温度の詳細調整**ページが表示されます。
2. ▲/▼ を押して変更するアイテムをハイライトし、◀/ ▶ を押して値を調整します。
   - **赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲイン :** 赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。
   - **赤オフセット / 緑オフセット / 青オフセット :** 赤、緑、青の輝度レベルを調整します。
3. 設定を保存して終了するには、**MENU/EXIT** を押します。

ガンマ選択の実行

ピクチャ > **詳細設定 ...** メニューで**ガンマ選択**をハイライトし、プロジェクタまたはリモコンの◀/▶ を押してお好みの設定を選択します。

ガンマは、入力ソースとピクチャ輝度の関係を参照します。

- ガンマ 1.6/1.8/2.0/BenQ
  お好みに従って、これらの値を選択します。
- ガンマ 2.2
  ピクチャの平均輝度を増加します。明るい環境、会議室、居間に最適です。
- ガンマ 2.4/2.5
  暗い環境でムービーを表示するのに最適です。
- ガンマ 2.6/2.8
  ほとんど暗いシーンから成るムービーを表示するのに最適です。



Brilliant Color

ピクチャ > **詳細設定 ...** メニューで **Brilliant Color** をハイライトし、プロジェクタかリモコンで◀/▶ を押して選択します。

この機能は新しい色処理アルゴリズムとシステムレベルの強化を利用して、より忠実、鮮やかな色のピクチャを提供すると共に、より高い輝度も可能になります。ビデオや自然のシーンで一般的な中間調画像であれば、50% 以上輝度を上げることが可能であるため、プロジェクタでリアルな本当の色を再現できます。その画質の画像をお好みの場合、**オン**を選択してください。そうでない場合は、**オフ**を選択してください。

色管理

教室、会議室、ラウンジなど照明が常にオンになっている場所や、ビルの外窓から日光が差し込む部屋など、ほとんどの取り付け状況でカラーマネージメントは必要ありません。

役員室、講義室、ホームシアターなど照明レベルをコントロールできるように固定して取り付ける場合のみ、カラーマネージメントを考慮する必要があります。カラーマネージメントは色彩管理を微調整してより正確な色を再現する場合に、必要となります。

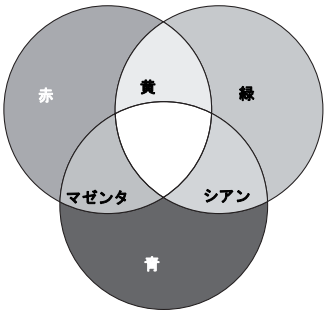
適切なカラーマネージメントは、管理条件下でまた再現可能な表示条件下でのみ達成できます。色再現を測定するには、比色計（カラーライトメーター）を使用し、適切なソース画像のセットを提供する必要があります。これらのツールはプロジェクタには付属していませんが、プロジェクタのサプライヤや経験豊富な技術者なら適切なアドバイスをすることができるはずです。

色管理では、6 セット (RGBCMY) の色を調整できます。それぞれの色を選択すると、お好みに従ってその範囲と彩度を個別に調整できます。

さまざまな色テストパターンが含まれたテストディスクを購入された場合は、モニタ、TV、プロジェクタなどでの色表示をテストすることができます。ディスクに保管された画像ならどれでもスクリーンに投写することが可能であり、**色管理**メニューで調整することができます。

設定を調整するには、

1. **ピクチャ** > **詳細設定 ...** メニューに移動し、**色管理**をハイライトします。
2. **MODE/ENTER** を押すと、**色管理**ページが表示されます。
3. **原色**をハイライト表示し、◀/▶ を押して、赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄の中から色を選択します。
4. ▼ を押して、**色相**を選択し、次に ◀/▶ を押してその範囲を選択します。範囲を広げると、その隣り合う 2 つの色の割合も多くなります。
   色が互いにどのように関連しているかについては、右図を参照してください。
   例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、投射ピクチャで純粋な赤だけが選択されます。範囲を広げると、黄に近い赤やマゼンタに近い赤も含まれます。



5. ▼ を押して **彩度** を選択し、◀/▶ を押してお好みの値に調整します。すべての調整は直ちに画像に反映されます。
   例えば、赤を選択しその範囲を 0 に設定した場合、純粋な赤の彩度のみが影響を受けます。
6. ▼ を押して**ゲイン**をハイライトし、◀/▶ を押してお好みの値に調整します。これによって、選択する原色のコントラストレベルが影響を受けます。すべての調整は直ちに画像に反映されます。
7. 他のカラーマネージメントも行う場合は、ステップ 3 から 6 を繰り替えしてください。
8. 希望の調整がすべて完了したことを確認してください。
9. **MENU/EXIT** を押してメニューを終了し、設定を保存します。

彩度 とはビデオピクチャの色の量のことです。設定を低くすると彩度が低くなります。「0」に設定すると、画像から完全に色が取り除かれます。彩度が高すぎると、色が過度に濃くなり現実離れして見えます。

フィルム モードの設定

ディスプレイメニューで**フィルム モード**をハイライトし、プロジェクタかリモコンで◀/▶を押して**オン**を選択します。

この機能により、フィルムをソースとするDVDまたはBlu-rayディスクからコンポジットまたはSビデオ画像を投射するとき、ピクチャ品質が向上します。

3D コム フィルタの設定

ディスプレイメニューで**3D コム フィルタ**をハイライトし、プロジェクタかリモコンで◀/▶を押して**オン**を選択します。

この機能はコンポジット信号をY(輝度)信号とC(カラー)信号に分け、正しい色のよりクリアでシャープな画像を所定の位置に生成します。

☞ **この機能はコンポジットまたはSビデオ信号が選択されている場合のみ使用できます。**

サウンドの調節

以下のようなサウンド調節はプロジェクタのスピーカーに影響します。プロジェクタのオーディオ入力に正しく接続されていることを確認します。オーディオ入力の接続方法については、22 ページの「接続」を参照してください。

音声のミュート

一時的に音声を停止するには、

- リモートコントロールの使用

MUTE を押して、一時的に音声を停止します。音声がオフになっている間、スクリーンの右上に が表示されます。

音声を再開するには、再度 **MUTE** を押します。

- OSD メニューの使用方法

1. **MENU/EXIT** を押し、**システム設定 : 詳細**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押します。
2. ▼ を押して**オーディオ設定**をハイライトし、**入力**を押します。**オーディオ設定** ページが表示されます。
3. **ミュート**をハイライト表示し、◀/▶ を押して、**オン**を選択します。
4. 音声を復元するには、ステップ 1 ～ 3 を繰り返し、◀/▶ を押して、**オフ**を選択します。

音声レベルを調節

サウンドレベルを調整するには、

- リモートコントロールの使用

 または を押して、希望の音声レベルを選択します。

- OSD メニューの使用方法

1. 上記のステップ 1-2 を繰り返します。
2. ▼ を押して**音量**を選択し、◀/▶ を押してご希望の音声レベルを選択します。

電源オン / オフ音をオフにする

1. 上記のステップ 1-2 を繰り返します。
2. ▼ を押して**電源オン / オフ音**をハイライトし、◀ /▶ を押して**オフ**を選択します。

電源オン / オフ音 を変更する方法は、ここでオンまたはオフに設定する方法のみです。音声をミュートしたり、音量を変更したりしても、電源オン / オフ音には影響しません。

縦横比の選択

「縦横比」とは、画像の幅と高さの比率のことです。ほとんどのアナログテレビとコンピュータは 4:3 比率で、デジタルテレビと DVD は通常 16:9 比になっています。

デジタル信号処理の出現で、このプロジェクタのようなデジタルディスプレイ デバイスは画像出力を画像入力信号とは異なる画像出力をダイナミックに引き延ばし拡大できるようになりました。

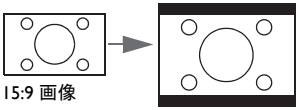
投射画像の比率を変更する (ソースの縦横比に関係なく) :

1. **MENU/EXIT** を押し、**ディスプレイ**メニューが選択されるまで ◀ /▶ を押します。
2. ▼を押して、**縦横比**を選択します。
3. ◀/▶ を押して、ビデオ信号の形式とディスプレイ要件に合わせて縦横比を選択します。

縦横比について

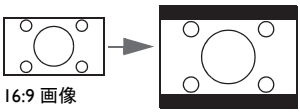
以下の図では、黒い部分が非アクティブなエリアで、白い部分がアクティブなエリアです。未使用の黒いエリアには OSD メニューを表示できます。

1. **自動** : 画像の縦横比を維持しながら、プロジェクタのネイティブ解像度の横幅に合わせて拡大縮小します。これは、入力画像が 4:3 でも 16:9 でもなく画像の縦横比を変更せずにスクリーンを最大限活用したいときに便利です。



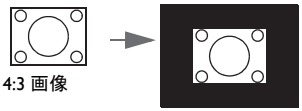
15:9 画像

4. **16:9**:16:9 スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。この設定は、縦横比を変更する必要がないため、高解像度テレビのように、すでに縦横比が 16:9 になっている画像にもっとも適しています。

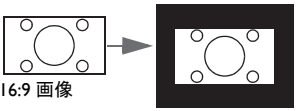


16:9 画像

2. **実寸**：画像はその本来の解像度で投射され、表示エリア内に合うようにリサイズされます。低解像度の入力信号では、投射画像はフルスクリーンサイズにリサイズした場合よりも小さいサイズで表示されます。ズーム倍率を調整するか、プロジェクタをスクリーンから遠ざけると、必要に応じて画像サイズを拡大することができます。このような調整を行った後は、プロジェクタのフォーカスを再び合わせる必要があります。

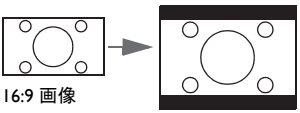


4:3 画像



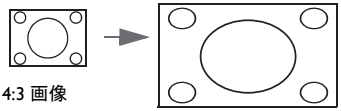
16:9 画像

3. **4:3**:4:3 スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるようにイメージを調整します。これは縦横比を変更せずにすむため、コンピュータのモニタ、標準画質のテレビ、縦横比 4:3 画像の DVD ムービーのような 4:3 画像にもっとも適しています。



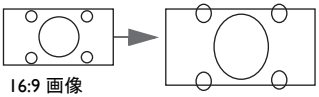
16:9 画像

5. **ワイド**：非線形的に水平方向に画像を引き伸ばします。つまり、画像の縁が、画像の中央部の歪みを防止するために、画像の中心よりも延伸されます。4:3 のアスペクト比の画像の幅をを 16：9 のアスペクト比のスクリーンの幅に引き延ばす場合に適しています。高さを変更しません。一部のワイドスクリーンムービーは、4：3 のアスペクト比の幅に圧縮されますが、この設定を利用して、元の幅に戻し、最良の状態で見ることができます。

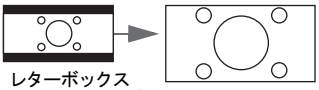


4:3 画像

6. **レター ボックス**：画像の水平方向の幅をプロジェクタのネイティブ解像度に合せてスケーリングし、画像の高さを投影幅の 4 分の 3 の高さにサイズ変更します。これは、表示できる高さより大きい画像を作成する可能性があり、画像の一部は、投影の上端および下端に沿って画像の一部を失われる（表示されない）ことになります。これは、レターボックスフォーマット（上端および下端に黒いバート持つ）で表示されるムービーの表示に適しています。



16:9 画像



レターボックス
フォーマット画像

- **黒い部分が非アクティブなエリアで、白い部分がアクティブなエリアです。**
- **未使用の黒いエリアには OSD メニューを表示できます。**

細部の拡大と検索

投射ピクチャの細部を見る必要がある場合、ピクチャを拡大してください。ピクチャをナビゲートするには、方向矢印キーを使用します。

1. **MENU/EXIT** を押し、**ディスプレイ**メニューが選択されるまで ◀ /▶ を押します。
2. ▼を押して**デジタル ズーム**を選択し **MODE/ENTER** を押します。ズームバーが表示されます。
3. プロジェクタの ▲ を繰り返し押してピクチャを希望のサイズに拡大します。
4. ピクチャをナビゲートするには、**MODE/ENTER** を押してパンモードに切り替え、方向矢印 (▲、▼、◀、▶) ボタンを使用します。
5. ピクチャのサイズを縮小するには、**MODE/ENTER** を押してズームイン / アウト機能に戻ります。**AUTO** を押すと、元のサイズに復元されます。また、元のサイズに戻るまで ▼ を繰り返し押すこともできます。

☞ **ピクチャは拡大された後でなければナビゲートすることはできません。細部を検索しながら、ピクチャをさらに拡大することができます。**

3D 機能の再生

1. 特殊なプリセットモードに入るには、**MENU/EXIT** を押してから**ディスプレイ**メニューがハイライトされるまで◀ /▶を押し、◀ /▶を押して **3D** を有効または無効にします。**3D 自動**が有効になっているとき、現在のピクチャモード調整は無効になります。
2. 画像を反転するには、**MENU/EXIT** を押してから**ディスプレイ**メニューがハイライトされるまで◀ /▶を押し、◀ /▶を押して **3D 同期逆転**を有効または無効にします。
3. ３ D 用件
   - PC: ステレオ機能 (クアッドバッファ機能) を持つグラフィックカードを搭載し、120Hz/60Hz のリフレッシュレートで作動できる PC。
   - ビデオ :60Hz/50Hz 動画を出力するための標準 NTSC/PAL DVD プレーヤー。
   - 55% の輝度が失われます。

☞ **3D 機能をお楽しみになるには、まず 3D ディスクメニューの下の DVD デバイスにある 3D 設定で「動画の再生」を有効にします。**

プロジェクタのメニューディスプレイのカスタマイズ

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューはお好みに合わせて設定できます。次の設定は投射設定、操作、性能には影響しません。

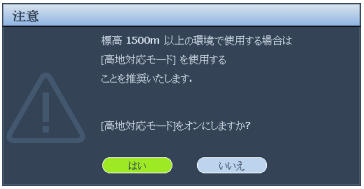
- **システム設定 : 基本** > **メニュー設定**メニューの**メニュー表示時間**では、最後にキーを押してからの OSD の表示時間を設定します。時間の長さは 5 ～ 30 秒まで 5 秒刻み範囲で設定できます。◀ /▶ を使って適切なタイムフレームを選択します。
- **システム設定: 基本** > **メニュー設定**メニューの**メニュー位置**で OSD の位置を 5 つの位置に設定します。◀ /▶ を使ってお好みの位置を選択します。
- **言語**メニューの**システム設定 : 基本**で OSD メニューの言語を設定します。◀ /▶ を使って言語を選択します。
- **システム設定 : 基本**メニューの**起動画面**で、プロジェクタの起動時に表示するお好みのロゴスクリーンを設定します。◀ /▶ を使ってスクリーンを選択します。

高地対応環境での操作

海抜 1500 m ～ 3000 m 、気温 0°C ～ 30°C の環境で本製品を使用する場合は、**高地モード**を使用されるようお勧めします。

⚠ **高度 0 m ～ 1500 m、温度 0°C ～ 35°C の範囲内では高地モードは使用しないでください。このような環境でこのモードを有効にすると、プロジェクタが過度に冷却されてしまいます。**

高地モードをオンにするには：



1. **MENU/EXIT** を押し、**システム設定：詳細**メニューが選択されるまで ◀ / ▶ を押します。
2. ▼ を押して、**高地モード**を選択し、次に ◀ /▶ を押して **オン** を選択します。確認メッセージが表示されます。
3. **はい**を選択し、**MODE/ENTER** を押します。

「高地モード」で操作すると、システムの冷却と性能を向上するためにファン速度が上がり、デシベル操作ノイズレベルが高くなる原因となります。

上記の場合を除き、その他の極端な条件下で本プロジェクタを使用すると、自動停止症状が表示されますが、これはプロジェクタを過熱から保護するための設計によるものです。このような場合、高地対応モードに切り替えてこれらの症状を解決する必要があります。ただし、これは、本プロジェクタがすべての過酷な状況または極端な状況でも操作可能であることを断言するものではありません。

コントロールキーをロックする

プロジェクタのコントロールキーをロックしておくと、プロジェクタの設定が誤って変更されるのを防止することができます（例えば、子供による）。キーロックがオンの場合、リモコンおよびプロジェクタ上のコントロールキーは、POWER および ▶ を除いて、動作しません。

キーをロックするには：

1. **MENU/EXIT** を押し、**システム設定：詳細**メニューが選択されるまで ◀ /▶ を押します。
2. ▼ を押して、**キー ロック**をハイライトし、◀ /▶ を押して、**オン**を選択します。警告メッセージが表示されます。**はい**を選択し、**MODE/ENTER** を押します。コントロールキーがロックされます。

キーをロック解除するには、プロジェクタまたはリモコン上の▶ を 3 秒間押し続けます。

画像を非表示にする

プロジェクタかリモコンの **エコ消画**を使用するとスクリーンの画像が消えるため、聴衆の関心をすべて講演者に向けることができます。プロジェクタまたはリモコンのいずれかのキーを押し、画像を復元します。画像が隠されている間は、スクリーンの右下に「**BLANK**」と表示されます。

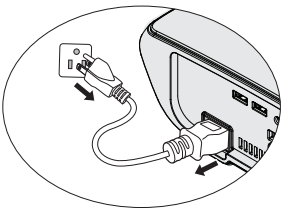
⚠ • **投写中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し、火災の原因となり危険です。**

画像の静止

リモコンの **FREEZE** 押すと画像が静止します。スクリーンの左上隅に「**FREEZE**」と表示されます。この機能を解除するには、プロジェクタかリモコンでどれでもキーを押してください。

スクリーン上でイメージが静止しても、ビデオやその他のでバイスでピクチャは再生されます。接続した装置に有効なオーディオが含まれている場合は、画像が静止しても音声は聞くことができます。

プロジェクタの停止



1. プロジェクタをオフにするには、リモコンの「電源 OFF」を押して、プロジェクタを直接オフにします。または、プロジェクタの ⏻ **電源**を押すと、警告メッセージが表示されます。
   ⏻ **電源**をもう一度押します。
2. 冷却プロセスが完了すると、**電源表示灯**がオレンジ色に点灯し、ファンが停止します。
3. プロジェクタを長期間使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いておいてください。

☞ • **ランプを保護するため、冷却プロセスの間プロジェクタはいかなるコマンドにも応答しません。**

• **冷却時間を短縮するために、クイッククーリング機能を有効にすることもできます。詳細は、56 ページの「クイッククーリング」を参照してください。**

• **プロジェクタが正常にシャットダウンしない場合は、ランプを保護するためにプロジェクタを再起動しようとするとファンが数分間作動して冷却を行います。ファンが停止したら再び電源を押してプロジェクタを起動します。このとき 電源表示灯 がオレンジ色に変わります。**

• **ランプの寿命は環境条件、および使用状況により異なります。**

メニュー操作

メニュー システム

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューは、選択した信号のタイプにより異なります。

メインメニュー	サブメニュー		オプション
1. ピクチャ	プリセット モード		ISF 無効：ダイナミック / **標準** / シネマ / ユーザー設定 1/ ユーザー 2 ISF 有効：ダイナミック / 標準 / シネマ / ユーザー設定 1/ ユーザー 2/**ISF Night**/ISF Day 3D 有効：**3D**/ ユーザー 3
	ユーザー モード管理	リファレンス モード	ISF 無効：ダイナミック / 標準 / シネマ / ユーザー設定 1/ ユーザー 2 ISF 有効：ダイナミック / 標準 / シネマ / ユーザー設定 1/ ユーザー 2/ISF Night/ISF Day 3D 有効：**3D**/ ユーザー 3
		ユーザー モード名変更	キーボードポップアップ
	輝度		
	コントラスト		
	色		
	色合い		
	シャープネス		
	色温度		**標準** / 低い / ランプネイティブ / 高い
	ランプ電源	標準	標準 / 省電力 /SmartEco
	詳細設定 ...	ブラック レベル	
		透明度調整	ノイズ リダクション :0-31
		色温度の詳細調整	赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲイン / 赤オフセット / 緑オフセット / 青オフセット
		ガンマ選択	1.6/1.8/2.0/2.2/2.4/2.5/2.6/2.8/ BenQ
		Brilliant Color	**オン** / オフ
		色管理	原色 (赤 / 緑 / 青 / シアン / マゼンタ / 黄)/ 色相 / ゲイン / 彩度
	ピクチャ設定をリセット		リセット / **キャンセル**
2. オーディオ設定	ミュート		
	音量		
	電源オン / オフ音		

メインメニュー	サブメニュー		オプション
3. ディスプレイ	縦横比		**自動** / 実寸 /16:9/4:3/ ワイド / レター ボックス
	台形補正		
	位置		
	オーバースキャン調整		
	PC と コンポーネント YPbPr の調整		水平サイズ / 位相 / 自動 (RGBHD PC タイミングのみ)
	デジタル ズーム		
	フィルム モード		**オン** / オフ
	3D コム フィルタ		**オン** / オフ
	3D	3D モード	自動 (信号に inforframe がある場合)/ オフ /F. シーケンシャル / フレームパッキング / 上 - 下 / 横に並べる
		3D 逆同期	
4. システム設定 : 基本	言語		**ENGLISH**/ FRANÇAIS/ DEUTSCH/ ITALIANO/ ESPAÑOL/ РУССКИЙ/ 繁體中文/ 简体中文/ 日本語/ 한국어/ Svenska/ Nederlands/ Türkçe/ Čeština/ Português/ ไปรตุเกส/ Polski/ Magyar/ Hrvatski/ Română/ Norsk/ Dansk/ български/ Suomi/ Ελληνικά/ Bahasa Indonesia
	背景色		**黒** / 青 / 紫
	起動画面		**BenQ**/ 黒 / 青
	プロジェクタの配置		**前面投射** / 背面投射 / 天井背面投射 / 天井前面投射
	自動電源オフ		**無効** /5 分 /10 分 /15 分 /20 分 / 25 分 /30 分
	スリープ タイマー		**無効** /30 分 /1 時間 /2 時間 /3 時間 / 4 時間 /8 時間 /12 時間
	メニュー設定	メニュー表示時間	常にオン /5 秒 /10 秒 /**15 秒** / 20 秒 /25 秒 /30 秒
		メニュー位置	**中央** / 左上 / 右上 / 右下 / 左下
		空白の通知メッセージ	オン / **オフ**
	入力ソース		
	ソース名変更		キーボードポップアップ
	自動ソース探知		

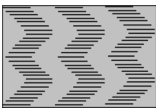
メインメニュー	サブメニュー		オプション
5. システム設定 : 詳細	**ランプ設定**	**タイマーのリセット**	
		ランプ時間（低）	
	HDMI 設定	**HDMI フォーマット**	**自動** /PC 信号 / ビデオ信号 PC 信号 0 ～ 255 レベル ビデオ信号 16 ～ 235 レベル
	ボーレート		2400/4800/9600/14400/19200/38400/57600/**115200**
	テストパターン		オン / **オフ**
	クローズドキャプション	**クローズドキャプション有効**	オン / **オフ**
		キャプションバージョン	**CC1**/CC2/CC3/CC4
	クイッククーリング		オン / **オフ**
	高地モード		オン / **オフ**
	パスワード	**パスワードの変更**	
		電源オンロック	オン / **オフ**
	キー ロック		オン / **オフ**
	全設定をリセット		
	ISF		パスワードの入力
6. 情報	**現在のシステム状態**		• ソース • プリセット モード • 解像度 • カラー システム • ランプ時間（低） • 3D 形式 • ファームウェアバージョン

メニュー項目は、プロジェクタが 1 つ以上有効な信号を検出したときに有効になります。プロジェクタに装置が接続されていなかったり信号が検出されない場合、アクセスできるメニュー項目は制限されます。

各メニューの説明

	機能	説明
1. ピクチャメニュー	**プリセットモード**	ご自分のプログラムタイプに合うようにプロジェクタ画像の設定を最適化できるように、事前定義されたピクチャモードが用意されています。 詳細は、36 ページの「選択したピクチャモードを詳細調整する」を参照してください。
	ユーザー モード管理	ピクチャ品質に必要なもっとも適したプリセットモードを選択し、以下の選択リストに基づいてピクチャを詳細調整します。 詳細は、37 ページの「ユーザー設定 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 モードを設定す」を参照してください。
	輝度	画像の輝度を調整します。 詳細は、38 ページの「輝度の調整」を参照してください。
	コントラスト	画像の暗い部分と明るい部分の違いを調整します。詳細は、38 ページの「コントラストの調整」を参照してください。
	色	彩度レベル、つまりビデオ画像の各色の量を調整します。詳細は、38 ページの「色の調整」を参照してください。 ☞ この機能は NTSC 規格が選択され、**ビデオ** または **S ビデオ** が選択されている場合にのみ使用可能となります。
	色合い	画像の赤と緑の色調を調整します。 詳細は、38 ページの「色合いの調整」を参照してください。 ☞ **この機能は NTSC 規格が選択され、ビデオ または S ビデオ が選択されている場合にのみ使用可能となります。**
	シャープネス	画像がよりシャープまたはソフトになるように調整します。 詳細は、38 ページの「シャープネスの調整」を参照してください。 ☞ この機能は NTSC 規格が選択され、**ビデオ** または **S ビデオ** が選択されている場合にのみ使用可能となります。
	色温度	詳細は、39 ページの「色温度の選択」を参照してください。
	ランプ電源	**標準**、**省電力**、**SmartEco** モードからプロジェクタのランプ電源を選択します。

	機能	説明
1. ピクチャメニュー	詳細設定 ...	**ブラック レベル** 0 IRE または 7.5 IRE としてピクチャのグレースケールを設定します。詳細は、39 ページの「ブラック レベルの設定」を参照してください。 **透明度調整** 詳細は、39 ページの「画像の明瞭さの制御」を参照してください。 **色温度の詳細調整** 詳細は、40 ページの「お好みの色温度を設定する」を参照してください。 **ガンマ選択** 詳細は、40 ページの「ガンマ選択の実行」を参照してください。 **Brilliant Color** 正しい色のプレゼンテーションを維持しながら、ホワイトピークを調整します。詳細は、40 ページの「Brilliant Color」を参照してください。 **色管理** 詳細は、41 ページの「色管理」を参照してください。
	ピクチャ設定をリセット	**ピクチャ**メニューのすべての設定を、出荷時の初期設定値に戻します。詳細は、37 ページの「ピクチャモードの再設定」を参照してください。
2. オーディオ設定メニュー	ミュート	詳細は、42 ページの「音声のミュート」を参照してください。
	音量	詳細は、42 ページの「音声レベルを調節」を参照してください。
	電源オン / オフ 音	詳細は、43 ページの「電源オン / オフ音をオフにする」を参照してください。

	機能	説明
3. ディスプレイメニュー	**縦横比**	入力信号ソースによって、画像の縦横比を設定するオプションはいくつかあります。詳細は、43 ページの「縦横比の選択」を参照してください。
	台形補正	イメージの台形補正を手動で修正します。詳細は、30 ページの「台形補正の修正」を参照してください。
	位置	位置調整ページが開きます。投射画像を移動するには、方向矢印キーを使用します。ページ下部に表示される値は、その最高値または最低値に達するまでキーを押すたびに変化します。 この機能は PC 信号 (アナログ RGB) が選択されている場合のみ使用できます。
	オーバースキャン調整	4 つの端の低品質のピクチャを隠します。◀ /▶ を手動で押して、隠す度合いを決定することもできます。設定 0 は、ピクチャを 100% 表示することを意味します。値が大きくなるほど、ピクチャを隠す部分が多くなりますが、画面に空白部分はなく幾何学的にも正確です。
	PC と コンポーネント YPbPr の調整	**水平サイズ** ピクチャの水平幅を調整します。 ☞ **この機能は PC 信号 (アナログ RGB) が選択されている場合のみ使用できます。** **位相** ピクチャの歪みを低減するためにクロック位相を調整します。  ☞ **この機能は PC 信号 (アナログ RGB) が選択されている場合のみ使用できます。** **自動 (RGBHD PC タイミングの場合のみ)** 位相と周波数を自動的に調整します。 ☞ **この機能は PC 信号が選択されている場合のみ使用できます。**
	デジタル ズーム	投射画像のサイズを拡大または縮小します。詳細は、45 ページの「細部の拡大と検索」を参照してください。

	機能	説明
3. ディスプレイメニュー	フィルム モード	詳細は、42 ページの「フィルム モードの設定」を参照してください。
	3D コム フィルタ	詳細は、42 ページの「3D コム フィルタの設定」を参照してください。
	3D	**3D モード** 本プロジェクタは、画像に深みを与えることで 3D ムービー、ビデオ、スポーツイベントをより臨場感豊かにお楽しみいただける 3D 機能を備えています。3D 画像をご覧いただくには、3D メガネを着用する必要があります。 ☞ **3D モード機能が有効になっているとき：** • 投写された画像の輝度レベルが減少します。 • プリセット モードを調整できません。 • 台形補正は限定された程度の範囲内でのみ調整できます。 **3D 逆同期** 3D 画像が歪んでいる場合、この機能を有効にして、左目と右目の画像を切り替えて、より快適な 3D 視聴体験を可能にします。
4. システム設定：基本メニュー	言語	オンスクリーン ディスプレイメニュー (OSD) の言語を設定します。 詳細は、31 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
	背景色	プロジェクタの背景色を設定します。詳細は、45 ページの「プロジェクタのメニューディスプレイのカスタマイズ」を参照してください。
	起動画面	プロジェクタ起動時に表示されるロゴスクリーンを選択することができます。選択肢には以下の 3 つがあります :BenQ ロゴ、黒いスクリーン、青いスクリーン。
	プロジェクタの配置	プロジェクタは、天井またはスクリーンの背後に設置したり、1 枚あるいは複数のミラーを付けて設置することができます。 詳細は、16 ページの「場所の選択」を参照してください。
	自動電源オフ	指定した時間を経過しても入力信号が検出されない場合、プロジェクタの電源を自動的にオフにします。 詳細は、59 ページの「設定自動電源オフ」を参照してください。
	スリープ タイマー	自動停止タイマーを設定します。タイマーは 30 分から 12 時間の間で値を設定できます。

	機能	説明
4. システム設定：基本メニュー	メニュー設定	**メニュー表示時間** 最後にキーを押してから OSD がアクティブになっている時間の長さを設定します。長さは 5 ～ 30 秒まで 5 秒刻みで設定できます。 **メニュー位置** オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー位置を設定します。 **空白の通知メッセージ** **オン** を選択することで、プロジェクタは空白の通知メッセージを示すことができます。
	入力ソース	投射する入力ソースを選択します。 詳細は、35 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。
	ソース名変更	ソースの名前を希望のものに変えます。 詳細は、35 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。
	自動ソース探知	プロジェクタが入力ソースを自動検索するかどうかを設定します。ソーススキャンが**オン**の場合、プロジェクタは信号を取得するまで入力ソースをスキャンします。機能がアクティブになっていない場合、最後に使用した入力ソースが選択されます。
5. システム設定：詳細メニュー	ランプ設定	**タイマーのリセット** 詳細は、63 ページの「ランプタイマーをリセットする」を参照してください。 **ランプ時間（低）** ランプの合計使用時間を計算する方法については、59 ページの「ランプ時間を知る方法」を参照してください。
	HDMI 設定	**HDMI フォーマット** HDMI 信号の入力ソースタイプを選択します。ソースタイプを手動で選択することもできます。ソースタイプが異なると、輝度レベルの標準も異なります。 ☞ **HDMI フォーマットは HDMI 信号が選択されている場合のみ使用できます。**
	ボーレート	適切な RS-232 ケーブルでプロジェクタをコンピュータに接続し、プロジェクタのファームウェアを更新またはダウンロードできるように、ボーレートはコンピュータと同じ値に設定してください。この機能は専門技術者用に設けられています。
	テストパターン	**オン**を選択するとこの機能が有効になり、プロジェクタにグリッド テストパターンが表示されます。これはイメージサイズとフォーカスを調整し、投写画像に歪みがないことを確認するのに役立ちます。

機能	説明
クローズドキャプション	**クローズドキャプション有効** **オン** を選択すると、機能が有効になります。使用可能になっているクローズドキャプションテキストが表示されます。 ☞ **アスペクト比が 16:9、16:10 またはリアルに変わるとクローズドキャプションは無効になります。。** **キャプションバージョン** お好みのクローズドキャプション モードを選択してください。キャプションを表示するには、**CC1**、**CC2**、**CC3**、**CC4** を選択します (**CC1** はお住まいの地域の一次言語でキャプションを表示します)。
クイッククーリング	クイッククーリング機能の有効または無効を切り替えます。「オン」を選択することで機能が有効になり、プロジェクタの冷却時間は通常の 90 秒から約 30 秒に短縮されます。
高地モード	高地での操作モードです。 詳細は、46 ページの「高地対応環境での操作」を参照してください。
パスワード	**パスワードの変更** 新しいパスワードに変更する前に、現在のパスワードを入力するよう要求されます。詳細は、32 ページの「パスワード機能の使用」を参照してください。 **電源オンロック** 正しいパスワードを知っているユーザーにのみ、プロジェクタの使用を制限します。詳細は、32 ページの「パスワード機能の使用」を参照してください。
キー ロック	詳細は、46 ページの「コントロールキーをロックする」を参照してください。
全設定をリセット	すべての設定を工場出荷時の値に戻します。 ☞ **次の設定は現在の設定値のまま維持されます : 台形補正、言語、プロジェクタの配置、高地モード、パスワード、キー ロック、ISF。**
ISF	ISF 校正メニューは、パスワード保護されており、認可された ISF 校正者のみがアクセス可能です。ISF（イメージング科学財団）は、最適なビデオ性能のために慎重に細工された、業界で認知された基準を開発し、BenQ 映像表示装置から最適な画質を得るために、これらの標準を使用する技術者や設置者のための研修プログラムを実施しています。したがって、設置および校正は、ISF 認定設置技術者によって行われることをお勧めします。 ☞ **詳細情報は、www.imagingscience.com を参照する k、プロジェクタを購入された店にお問い合わせください。**

機能		説明
9. 情報メニュー	現在のシステム状態	**ソース** 現在の信号ソースを表示します。 **プリセット モード** **プリセット**メニューで選択したモードを表示します。 **解像度** 入力信号のネイティブ解像度を表示します。 **カラー システム** 入力システム形式、NTSC、PAL、SECAM、RGB を表示します。 **ランプ時間（低）** ランプが使用された時間を表示します。 **3D 形式** 現在の 3D モードを表示します。 ☞ **3D 形式は、3D モードが有効になっているときのみ使用できます。** **ファームウェアバージョン** プロジェクタのファームウェアバージョンを表示します。

☞ **情報メニューは、プロジェクタの現在の操作ステータスを示します。**

メンテナンス

プロジェクタのお手入れ

ご使用のプロジェクタは、メンテナンスの必要がほとんどありません。レンズを清潔に保つために、定期的なレンズのお手入れだけが必要です。

ランプ以外は、プロジェクタの部品を一切取り外さないでください。ランプ以外の交換が必要な場合は、販売店にご連絡ください。

レンズの洗浄

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズを洗浄します。

- 圧縮空気スプレー缶を使用してほこりを取り除きます。
- 汚れやしみが付いた場合、レンズ洗浄ペーパーまたはレンズ クリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。

⚠ **研磨パッド、アルカリ / 酸クリーナー、クレンザー、またはアルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。そのような素材の使用あるいはゴムまたはビニール素材との長時間にわたる接触は、プロジェクタの表面およびキャビネット素材の破損を招く恐れがあります。**

プロジェクタケースの洗浄

ケースの洗浄を行う前に、47 ページの「プロジェクタの停止」で説明した正しい遮断手順でプロジェクタの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。

- ほこりや汚れを取り除くには、柔らかい布でケースを拭きます。
- 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

⚠ **ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。ケースを傷める場合があります。**

プロジェクタの保管

プロジェクタを長期間保管する必要がある場合、以下の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクタの推奨範囲内であることを確認します。範囲については、66 ページの「仕様」を参照されるか、販売店にお尋ねください。
- アジャスターフットを格納します。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクタを製品を梱包していた箱、または同等の箱に梱包します。

プロジェクタの移動

プロジェクタを搬送するときは、製品を梱包していた箱または同等の箱に梱包することを推奨します。
自分自身でプロジェクタを運ぶときは、製品が入っていた箱または適切なソフトキャリーケースを使用してください。

ランプについて

ランプ時間を知る方法

プロジェクタが作動しているとき、内蔵されたタイマーがランプの使用時間 (時間単位) を自動的に計算します。同等のランプ時間の計算方法は次の通りです。

☞ **省電力モードについての詳細は、下記の " ランプ モードを省電力または SmartEco モードに設定する " を参照してください。**

ランプ使用時間を知るには、

1. **MENU/EXIT** を押し、**システム設定 : 詳細**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押します。
2. ▼を押して**ランプ設定**を選択し **MODE/ENTER** を押します。**ランプ設定**ページが表示されます。
3. メニューに表示された**ランプ時間（低）**情報が表示されます。
4. メニューを終了するには、**MENU/EXIT** を押します。

また、**情報**メニューではランプ時間情報を見ることもできます。

ランプの寿命を延ばす

投射ランプは消耗品です。ランプの寿命をできるだけ長く維持するには、OSD メニューで次の設定を行ってください。

ランプ モードを省電力または SmartEco モードに設定する

省電力モードに設定すると、システムノイズと電力消費量を最高で 30% まで低減することができます。**SmartEco** モードを使用すると、システムノイズが低減し、ランプの消費電力が最大 70% 削減されます。**省電力**または **SmartEco** モードを選択すると、出力されるライトが低減され、その結果投写画像が暗くなります。

プロジェクタを**省電力**または SmartEco モードで使用すると、ランプの寿命を延長することができます。**省電力**または **SmartEco** モードを設定するには、**ピクチャ** > **ランプ設定** > **ランプ電源**メニューに進み、**MODE/ENTER** を押します。**ランプ電源**ページが表示されます。希望のモードが選択されるまで ▲/▼ を繰り返し押し、次に **MODE/ENTER** を押します。

ランプ モード	説明
標準	100% のランプ輝度
省電力	30% のランプ電力消費を節約します
SmartEco	コンテンツの明るさレベルによって、最大 70% のランプ電力消費を節約します

設定自動電源オフ

指定した時間が経過しても入力ソースが検出されない場合、ランプの寿命を不必要に浪費しないように自動的にプロジェクタの電源をオフにします。

自動電源オフを設定するには、**システム設定 : 基本** > **自動電源オフ**メニューに進み、◀/▶ を押します。時間は 5 分おきに 5 分から 30 分の範囲で設定できます。プリセットの時間の長さがプレゼンテーションに合わない場合は、**無効**を選択します。この場合、一定時間が経過してもプロジェクタは自動的に遮断しません。

ランプ交換のタイミング

ランプインジケータが赤に点灯した場合、またはランプの交換時期であることを示すメッセージが表示された場合、新しいランプを取り付けるか、お買い上げの販売店にご連絡ください。古いランプを使用すると、プロジェクタの誤動作の原因となり、場合によってはランプが破裂します。

ランプ交換については http://lamp.benq.com をご覧ください。

⚠ **ランプの温度が異常に高くなると、LAMP (ランプインジケータ ライト) および TEMP (温度警告ライト) が点灯します。詳細は、64 ページの「インジケータ」を参照してください。**

次のランプ警告が表示されたら、ランプ交換時期を示しています。

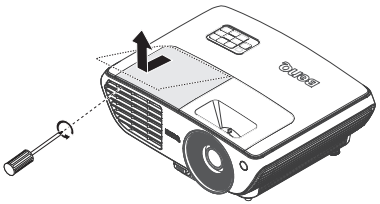
☞ **以下の警告メッセージは参考情報です。実際のオンスクリーン指示に従い、ランプを準備し交換してください。**

ステータス	メッセージ
動作を最適化するために、新しいランプを取り付けてください。通常プロジェクタを**省電力**モードで起動している場合は (59 ページの「ランプ モードを省電力または SmartEco モードに設定する」を参照してください。)、次のランプ警告メッセージが表示されるまでプロジェクタを使用することができます。	
プロジェクタの操作中にランプの寿命が切れるのを避けるために、新しいランプを取り付ける必要があります。	
この時点でランプを交換されるよう強くお薦めします。ランプは消費アイテムです。ランプは使用を重ねる毎に明るさが失われます。これはランプのノーマルな動作です。明るさのレベルが大幅に減少したら、直ちにランプを交換してください。	
プロジェクタがノーマルに動作するには、ランプを交換する必要があります。	

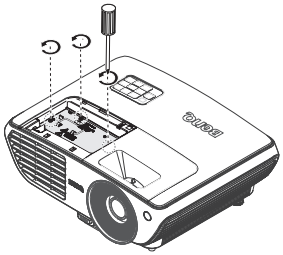
ランプの交換

⚠
- **天井に上下逆さに取り付けられているプロジェクタのランプを交換する場合は、ランプの破片で人体や目に負傷する危険性がありますので、ランプソケットの下には絶対に立たないでください。**
- **感電の原因となるため、ランプを交換する前には必ずプロジェクタの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。**
- **重度のやけどを負う原因となるため、ランプを交換する前に、45 分以上プロジェクタを冷却してください。**
- **指をけがしたり、内部部品が破損する原因となるため、割れて鋭くなったランプのガラス片を取り除く場合は、注意をしてください。**
- **指の負傷やレンズに触れることによる画質低下の原因となるため、ランプを取り外すときに空のランプ ケースには触れないでください。**
- **このランプには水銀が含まれています。正しい方法でこのランプを廃棄するには、地域の有害廃棄物規制を参考にしてください。**
- **プロジェクタから最高のパフォーマンスを出すために、交換用ランプとして BenQ プロジェクタ用ランプを購入されることをお薦めします。**
- **割れたランプを扱うときは十分な換気が施されていることを確認してください。防塵マスク、安全メガネ、ゴーグル、顔保護物を使用し、手袋などの保護衣を着用するようにお勧めします。**

1. 電源をオフにして、プロジェクタをコンセントから抜きます。ランプが高温になっている場合、やけどしないようにランプが冷えるまで約 45 分間お待ちください。
2. 正面から拘束ねじを緩めます。
3. 図のように、ランプ収納派バーを取り外します。

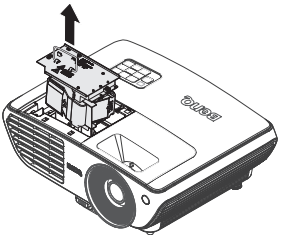


4. ランプを固定している 3 本の拘束ねじを緩めます。



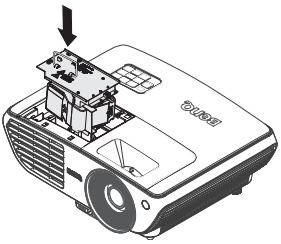
⚠
- **ランプカバーを外したまま、電源をオンにしないでください。**
- **ランプとプロジェクタの間に指を挿入しないでください。プロジェクタ内部の鋭い縁により、負傷の原因となります。**

5. ハンドルを上に持ち上げ立ててください。ハンドルを使ってゆっくりとランプをプロジェクタから引き出します。



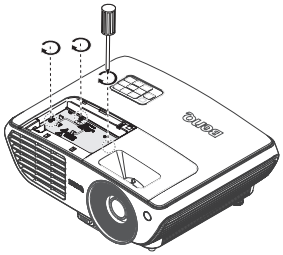
⚠
- **急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクタ内に散乱します。**
- **ランプは、水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。**
- **ランプを取り外した後、プロジェクタ内部に手を入れないでください。内部の光学部品に手を触れると、投射画像の色が不均一になり歪む原因となります。**

6. 新しいランプをランプ室に挿入し、プロジェクタにフィットすることを確認します。



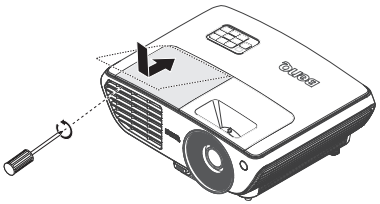
⚠
- **コネクタが整列していることを確認してください。**
- **抵抗を感じたら、ランプを持ち上げ再び開始してください。**

7. ランプを固定しているねじを締め付けます。
8. ハンドルが完全に平たくなっており、適切な場所にロックされていることを確認します。



⚠
- **ネジがゆるいと接触が悪くなり、故障の原因となります。**
- **ネジを締め付け過ぎないでください。**

9. プロジェクタのランプ収納カバーを元に戻し、拘束ねじを締め付けます。



10. プロジェクタを再起動します。

⚠ **ランプカバーを外したまま、電源をオンにしないでください。**

ランプタイマーをリセットする

11. スタートアップロゴの次に、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが表示されます。**システム設定 : 詳細** > **ランプ設定**メニューに進みます。**MODE/ENTER** を押します。**ランプ設定** ページが表示されます。▼を押して**タイマーのリセット**を選択し **MODE/ENTER** を押します。ランプタイマーをリセットするかどうかを確認するメッセージが表示されます。**リセット**を選択し、**MODE/ENTER** を押します。するとランプ時間が 0 にリセットされます。

⚠ **ランプが新しいものでない場合、または交換していない場合はリセットしないでください。ランプが破損する原因となります。**

インジケータ

ライト			状態と説明	
電源	温度	ランプ		
電源イベント				
オレンジ	オフ	オフ	スタンバイ モード	
緑で点滅	オフ	オフ	電源を入れる	
緑	オフ	オフ	標準操作	
オレンジで点滅	オフ	オフ	プロジェクタが冷却しています。	
ランプイベント				
オフ	オフ	オレンジで点滅	ランプスイッチが点灯してません。	
オフ	オフ	赤	1. プロジェクタの冷却に 90 秒必要です。**または** 2. 販売店にお問い合わせください。	
熱イベント				
赤	赤	赤	ファンが作動していません。	プロジェクタが自動的に停止しました。プロジェクタを再起動しようとしても、再び停止します。販売店にお問い合わせください。
赤	赤	オフ		
赤	赤	オレンジ		
緑	オレンジ	オフ	内部温度が高すぎます。 • 吸気口または排気口が遮られています。 • プロジェクタが換気の悪い場所に設置されています。 • 周辺温度が高すぎます。	
緑	オレンジ	赤		
緑	オレンジ	オレンジ		
緑	オレンジ	緑		
緑	赤	赤		
システムの状況				
緑	オフ	赤	プロジェクタが自動的に停止しました。プロジェクタを再起動しようとしても、再び停止します。販売店にお問い合わせください。	
赤で点滅	オフ	オフ		
赤	オフ	赤		
オフ	緑	赤	ランプドアが開いています。ランプドアが開いているか、しっかり閉じていないか確認してください。	

トラブルシューティング

? プロジェクタの電源がオンにならない。

原因	対応策
電源コードから電気がきていません。	電源コードをプロジェクタの AC インレットとコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認します。
冷却プロセスの間にプロジェクタの電源を再びオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。

? ピクチャが映らない

原因	対応策
ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが接続されていることを確認します。
プロジェクタが入力信号デバイスに正しく接続されていません。	接続を確認してください。
入力信号が正しく選択されていません。	プロジェクタまたはリモコンの **SOURCE** キーを使って、正しい入力信号を選択します。

? 画像がぼやける

原因	対応策
投射レンズの焦点が合っていません。	フォーカスリングでピント調整を行ってください。
プロジェクタとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投射角度と方向、また必要に応じて装置の高さも調整します。

? リモコンが機能しない

原因	対応策
電池の残量がありません。	電池を新しいものと交換してください。
リモコンとプロジェクタの間に障害物があります。	障害物を取り除いてください。
プロジェクタからの距離が遠すぎます。	プロジェクタから 7 メートル (23 フィート) 以内の距離に近づいてください。

? パスワードが間違っている

原因	対応策
入力したパスワードが正しくありません。	詳細は、33 ページの「パスワードの呼び戻し手順に入る」を参照してください。

仕様

プロジェクタの仕様

☞ **すべての仕様は予告なしに変更することがあります。**

光学
解像度
　1080p
表示システム
　単一チップ DLP™ システム
レンズ F/ 番号
　F = 2.42 ～ 2.97, f = 20.7 ～ 31.88 mm
ランプ
　240W ランプ

電気仕様
電源装置
　AC100-240V, 3.5A
　50-60 Hz (自動)
消費電力
　300W (最大)、< 0.5W (スタンバイ)

機械仕様
重量
　7.5 lbs (3.4 Kg)

出力端末
スピーカー
　(モノラル) 10 ワット x 1
オーディオ信号出力
　PC オーディオジャック x 1

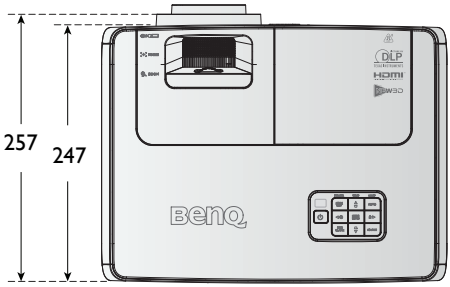
コントロール
USB
　ミニ B タイプ
RS-232 シリアルコントロール
　9 ピン x 1
IR 受信装置 x 2
12V トリガー
12VDC (最大 0.5 A) x 1

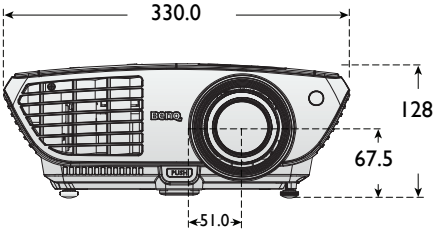
入力端末
コンピュータ入力
　RGB 入力
　　D-Sub 15 ピン (メス) x 1
ビデオ信号入力
　ビデオ
　　RCA ジャック x 1
　SD/HDTV 信号入力
　　アナログ - コンポーネント RCA ジャック x 3
　　デジタル -HDMI x 2
オーディオ信号入力
　オーディオ入力
　　PC オーディオジャック x 1
　　RCA オーディオジャック（L/R）x 1

環境条件
動作温度
　0°C-40°C (海抜)
操作時の相対湿度
　10%-90% (結露しないこと)
動作高度
　0-1,499 m(0°C ～ 35°C のとき)
　1500-3,000 m(0°C ～ 30°C かつ高地モードオン)

外形寸法

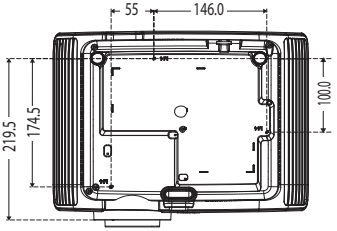
330 mm (W) x 128 mm (H) x 257 mm (D)

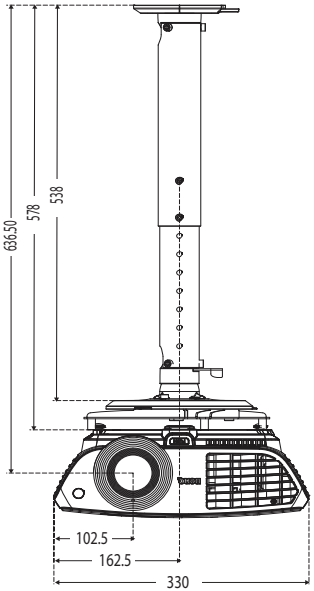


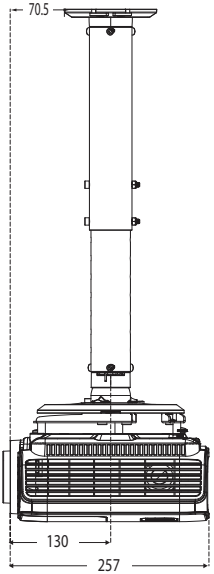


天井取付

＊天井取付ねじ：
M4 (最大 L=25, 最小 L=20)







本体 :mm

タイミング図

サポートされる PC 入力のタイミング

解像度	形式	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	ピクセル周波数 (MHz)
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221
640 x 480	VGA_60*	59.94	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.5
	VGA_75	75	37.5	31.5
	VGA_85	85.008	43.269	36
800 x 600	SVGA_60*	60.317	37.879	40
	SVGA_72	72.188	48.077	50
	SVGA_75	75	46.875	49.5
	SVGA_85	85.061	53.674	56.25
	SVGA_120** (ブランキング減少)	119.854	77.425	83
1024 x 768	XGA_60*	60.004	48.363	65
	XGA_70	70.069	56.476	75
	XGA_75	75.029	60.023	78.75
	XGA_85	84.997	68.667	94.5
	XGA_120** (ブランキング減少)	119.989	97.551	115.5
1152 x 864	1152 x 864_75	75	67.5	108
1024 x 576	BenQ ノートブックタイミング	60	35.82	46.966
1024 x 600	BenQ ノートブックタイミング	64.995	41.467	51.419
1280 x 720	1280 x 720_60*	60	45	74.25
1280 x 768	1280 x 768_60*	59.87	47.776	79.5
1280 x 800	WXGA_60*	59.81	49.702	83.5
	WXGA_75	74.934	62.795	106.5
	WXGA_85	84.88	71.554	122.5
	WXGA_120** (ブランキング減少)	119.909	101.563	146.25
1280 x 1024	SXGA_60***	60.02	63.981	108
	SXGA_75	75.025	79.976	135
	SXGA_85	85.024	91.146	157.5

解像度	形式	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	ピクセル周波数 (MHz)
1280 x 960	1280 x 960_60***	60	60	108
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.5
1360 x 768	1360 x 768_60***	60.015	47.712	85.5
1440 x 900	WXGA+_60***	59.887	55.935	106.5
1400 x 1050	SXGA+_60***	59.978	65.317	121.75
1600 x 1200	UXGA***	60	75	162
1680 x 1050	1680 x 1050_60***	59.954	65.29	146.25
640 x 480@67Hz	MAC13	66.667	35	30.24
832 x 624@75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.28
1024 x 768@75Hz	MAC19	74.93	60.241	80
1152 x 870@75Hz	MAC21	75.06	68.68	100

*F. シーケンシャル、上 - 下、横に並べる形式による 3D 信号のサポートされるタイミング。

**F. シーケンシャル形式による SD 信号のサポートされるタイミング。

*** 上 - 下および横に並べる形式による 3D 信号のサポートされるタイミング。

- 上に示すタイミングは EDID ファイルおよび VGA グラフィックカードの制約により対応しないこともあります。一部のタイミングを選択できないことがあります。

コンポーネント YPbPr 入力向けに対応するタイミング

形式	解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	ピクセル周波数 (MHz)
480i*	720 x 480	59.94	15.73	13.5
480p*	720 x 480	59.94	31.47	27
576i	720 x 576	50	15.63	13.5
576p	720 x 576	50	31.25	27
720/50p	1280 x 720	50	37.5	74.25
720/60p*	1280 x 720	60	45	74.25
1080/50i	1920 x 1080	50	28.13	74.25
1080/60i	1920 x 1080	60	33.75	74.25
1080/24p	1920 x 1080	24	27	74.25
1080/25p	1920 x 1080	25	28.13	74.25
1080/30p	1920 x 1080	30	33.75	74.25
1080/50p	1920 x 1080	50	56.25	148.5
1080/60p	1920 x 1080	60	67.5	148.5

* F. シーケンシャル形式による SD 信号のサポートされるタイミング。

ビデオ入力のサポートされるタイミング

形式	解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	ピクセル周波数 (MHz)
NTSC*	-	60	15.73	3.58
PAL	-	50	15.63	4.43
SECAM	-	50	15.63	4.25 または 4.41
PAL-M	-	60	15.73	3.58
PAL-N	-	50	15.63	3.58
PAL-60	-	60	15.73	4.43
NTSC4.43	-	60	15.73	4.43

* F. シーケンシャル形式による SD 信号のサポートされるタイミング。

HDMI (HDCP) 入力のサポートされるタイミング

解像度	形式	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	ピクセル周波数 (MHz)
640 x 480	VGA_60*	59.94	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.5
	VGA_75	75	37.5	31.5
	VGA_85	85.008	43.269	36
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221
800 x 600	SVGA_60*	60.317	37.879	40
	SVGA_72	72.188	48.077	50
	SVGA_75	75	46.875	49.5
	SVGA_85	85.061	53.674	56.25
	SVGA_120** (ブランキング減少)	119.854	77.425	83
1024 x 768	XGA_60*	60.004	48.363	65
	XGA_70	70.069	56.476	75
	XGA_75	75.029	60.023	78.75
	XGA_85	84.997	68.667	94.5
	XGA_120** (ブランキング減少)	119.989	97.551	115.5
1152 x 864	1152 x 864_75	75	67.5	108
1024 x 576	BenQ ノートブックタイミング	60	35.82	46.996
1024 x 600	BenQ ノートブックタイミング	64.995	41.467	51.419

解像度	形式	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	ピクセル周波数 (MHz)
1280 x 720	1280 x 720_60*	60	45	74.25
1280 x 768	1280 x 768_60*	59.87	47.776	79.5
1280 x 800	WXGA_60*	59.81	49.702	83.5
	WXGA_75	74.934	62.795	106.5
	WXGA_85	84.88	71.554	122.5
	WXGA_120** (ブランキング減少)	119.909	101.563	146.25
1280 x 1024	SXGA_60***	60.02	63.981	108
	SXGA_75	75.025	79.976	135
	SXGA_85	85.024	91.146	157.5
1280 x 960	1280 x 960_60***	60	60	108
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.5
1360 x 768	1360 x 768_60***	60.015	47.712	85.5
1440 x 900	WXGA+_60***	59.887	55.935	106.5
1400 x 1050	SXGA+_60***	59.978	65.317	121.75
1600 x 1200	UXGA***	60	75	162
1680 x 1050	1680 x 1050_60***	59.954	65.29	146.25
640 x 480@67Hz	MAC13	66.667	35	30.24
832 x 624@75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.28
1024 x 768@75Hz	MAC19	75.02	60.241	80
1152 x 870@75Hz	MAC21	75.06	68.68	100

*F. シーケンシャル、上 - 下、横に並べる形式による 3D 信号のサポートされるタイミング。

**F. シーケンシャル形式による SD 信号のサポートされるタイミング。

*** 上 - 下および横に並べる形式による 3D 信号のサポートされるタイミング。

- 上に示すタイミングは EDID ファイルおよび VGA グラフィックカードの制約により対応しないこともあります。一部のタイミングを選択できないことがあります。

HDMI ビデオ入力のサポートされるタイミング

形式	解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	ピクセル周波数 (MHz)
480i***	720 (1440) x 480	59.94	15.73	27
480p***	720 x 480	59.94	31.47	27
576i	720 (1440) x 576	50	15.63	27
576p	720 x 576	50	31.25	27
720/50p**	1280 x 720	50	37.5	74.25
720/60p*	1280 x 720	60	45	74.25
1080/24p**	1920 x 1080	24	27	74.25
1080/25p	1920 x 1080	25	28.13	74.25
1080/30p	1920 x 1080	30	33.75	74.25
1080/50i****	1920 x 1080	50	28.13	74.25
1080/60i****	1920 x 1080	60	33.75	74.25
1080/50p*****	1920 x 1080	50	56.25	148.5
1080/60p*****	1920 x 1080	60	67.5	148.5

*F. シーケンシャル、フレームパッキング、上 - 下、横に並べる形式による 3D 信号のサポートされるタイミング。

** フレームパッキング、上 - 下、横に並べる形式による 3D 信号のサポートされるタイミング。

*** F. シーケンシャル形式による SD 信号のサポートされるタイミング。

**** 横に並べる形式により SD 信号向けに対応するタイミング。

***** 上 - 下による 3D 信号のサポートされるタイミング。

保証と著作権情報

限定保証

BenQ は、本製品が通常の使用および保管下で材質または仕上がりに欠陥がないことを保証します。

保証クレームには、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に欠陥があることが判明した場合、BenQ の責任とお客様に対する唯一の法的救済は、欠陥部品の交換 (人件費を含む) に限られます。保証サービスを受ける場合は、欠陥のある製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が BenQ の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。特に本製品は環境湿度 10% から 85% の間、温度 5°C から 28°C の間、高度 4920 フィート以下の環境でご使用になり、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。本保証はお客様に特定の法的権利を提供するもので、また、国によって異なる他の権利が与えられることもあります。

詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com をご覧ください。

著作権

Copyright 2011 by BenQ Corporation.All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ コーポレーションの事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

BenQ Corporation は、本書の内容に関して明示的または黙示的に表明または保証するものではなく、また商業的価値や特定目的への適合性に対する保証はいっさいいたしません。さらに、BenQ Corporation は本書を改定する権利を留保するものとし、かかる改定や変更についていかなる人物に対しても通知する義務を負うことはありません。

*DLP 、Digital Micromirror Device 、および DMD は、Texas Instruments の商標です。その他の著作権はそれぞれの会社または組織に帰属します。